

慈恵大学の「今」を伝える法人情報誌

The JIKKEI

2010 Spring Vol. 14



M.E.リード女史

日本の近代看護教育の導入に積極的であった高木兼寛は有志共立東京病院内に日本最初の看護師教育機関である看護婦教育所を設立した。明治17年(1884)にアメリカ合衆国から指導者として招いたのが看護師M.E.リード女史であった。第1回生はわずか5名であったが、これが日本での近代看護教育の始まりであった。病気は医学・医術のみで治るものではなく、人の生命・幸福・死をみつめる看護(ケア)の心が必要なのである。

[特集] 座談会

慈恵医大における臨床研修制度を考える

Contents

- 巻頭言** 1p 飛躍を目指して……………理事長・学長 栗原 敏
- 特集** 2p 慈恵医大における臨床研修制度を考える
改正された新臨床研修医制度に慈恵としてどう取り組んできたのか。課題を含めて振り返る。
- 慈恵最前線** 8p 腎臓の再生～透析に代わる次世代の治療法を開発する～…横尾 隆
再生医学研究の中で最も取り組みが遅れている腎臓だが、再生医療による次世代の治療法への挑戦が始まっている。
- 視点** 10p 患者第一主義“Placing the Patient First”……………上園 晶一
患者第一主義は簡単に見えるが、実践するのは大変だ。ポストンの恩師に教えられた実践のポイントを紹介。
- 研究余話** 11p 診療と臨床研究……………笠原 洋勇
うつ病に対する研究活動を通して、日々積み重ねた診療が臨床研究に結びつき、繰り返される意義を考える。
- 歴史** 12p 高木軍医総監の診察風景……………松田 誠
講師・桃川如燕を診察した高木兼寛は、丈夫な体を診て、先行きを予見した。その診察の会話を取り上げた。
- 随想** 14p 度忘れ……………持尾 聰一郎
「度忘れ」がどうして起きるかに疑問を持って神経学を志した筆者が、「物忘れ」がひどくなった母への想いを綴る。
- The JIKEI NEWS FLASH** 15p 新任教授紹介／第三病院七夕ロビーコンサート／看護師復職支援研修 など
- 生涯学習** 19p 各種セミナーや研修会への取り組み
- BULLETIN BOARD** 20p 行事
- 21p 補助金・助成金
- 27p 公示
- 30p 学事・慶弔
- 31p 東京慈恵会公報
- 32p 創立百二十周年記念事業募金のご報告
- 33p 十周年記念事業寄付者名簿

■平成22年(2010)主な行事予定表

- 3月12日(金)**
第85回医学科卒業式・第15回看護学科卒業式
(午後1時30分から中央講堂)
- 3月26日(金)**
保健師・看護師国家試験合格発表
(午後2時)
- 3月29日(月)**
第104回医師国家試験合格発表
(午後2時)
- 4月1日(木)**
平成22年度大学院入学式
(午後1時から大学1号館講堂)
- 4月8日(木)**
平成22年度医学科・看護学科入学式
(午後2時から中央講堂)
入学式終了後、新入生父兄の施設見学
(大学1号館)および歓迎会(4階学生ホール)
- 4月29日(木)**
京都府立医科大学定期懇談会・レセプション・懇親会(京都国際ホテル)
- 5月1日(土)**
創立記念日
- 6月5日(土)**
父兄会春期総会
(午後3時から国領校602講堂)
および懇親会(午後5時からペラ食堂)
- 6月12日(土)**
実験動物慰霊祭
(午後3時から大学1号館講堂)
- 8月7日(土)**
慈恵医大夏季セミナー
(午後4時から大学1号館講堂)
- 8月28日(土)**
第1回オープンキャンパス
(午後1時30分から中央講堂)

【巻頭言】



理事長・学長 栗原 敏

飛躍を目指して

皆様には心新たに新年をお迎えのことと存じます。今年も大学発展のために皆様のご協力を心よりお願い致します。

昨年は世界的不況、新型インフルエンザの流行、政権交代など、大学をとりまく社会情勢が大きく変化しました。不況の影響を受け資産運用を誤り、大きな損失を出し、運営が困難になった大学もあります。幸い本学は堅調な財務を堅持し事業計画を予定通り進めることができました。堅調な財務によって得られた収益を学校法人の理念を実現する資金として使い、社会貢献すると共に大学の発展を目指していかなくてはなりません。

昨年末、大学の役員改選が行われ、本年4月から新たな体制で大学が運営されます。学長・理事長は私が継続してお引き受けすることになりました。本院長は森山寛教授、青戸病院長は伊藤洋教授、第三病院長は坂井春男教授、柏病院長は小林進教授に決まり、各附属病院の特色化と活性化が図られます。また、医学科長は羽野寛教授、看護学科長は藤村龍子教授で、卒前教育が一層、改善・充実されます。附属病院は慈恵大学の財務を支える基盤であり、医療人を育成するための教育の場でもあります。附属病院で実践される良質の医療は、臨床教育の質の向上につながります。大学と附属病院が車の両輪のように協力することによって、質の高い人材が育成され、その人材が本学を担っていくという良循環ができれば、大学はゆるぎないものになります。卒前教育に加えて、卒後教育の充実にも努めて、求心力のある大学になることが肝要です。

今年は、高木兼寛先生が本学の前身である成医会講習所を創設して130年になります。高木先生が成医会講習所を創設した理念を思い出し、より一層質の高い医科大学を目指す年にしたいと思います。高木先生は、病んでいる臓器を診(看)ることにとらわれることなく、患者さんの心の痛みをよく理解して全人的に患者さんを診(看)なさいという教えを残され、この教えが今日まで本学に受け継がれています。また、脚気の原因が食事にあることを指摘し、栄養の摂り方を改善することによって、脚気を撲滅しました。先生が2隻の練習艦を使って行った研究手法は、わが国最初の大規模臨床試験として、また、食事の改善による脚気の撲滅は、予防医学

の先駆けとして高く評価されています。私たちは、このような医療に貢献できる研究の振興にも努めています。

昨年4月に開講された看護学専攻修士課程は2年目を迎え、現場で働く看護師の向上を目指しています。日本で最初の看護教育が行われた本学にこのような特色ある修士課程が開設されたことを嬉しく思います。

大学は自己点検・評価に加えて第三者による評価を受け、質を担保しなくてはなりません。7年前に大学基準協会の評価を受け、協会の基準に適合しているとの判定を受けましたが、いくつか指摘事項がありました。以来、7年間、教育、研究、診療と財務の改善を図ってきました。昨年、認定更新のため再受審したところ、大学基準協会の基準に適合しているとの評価結果(案)が送られてきました。この7年間、大学が向上を目指して努力してきた結果が評価されたものといえます。大学基準協会の評価結果に満足することなく、本学が多様な人材を育成し、他大学の追随を許さない特色ある私立医科大学として輝くよう努力していきたいと思えます。

さて、本年2月から青戸病院のリニューアル工事が始まりました。地域に密着した2次救急医療機関として救急医療体制を整備し、救急医療の充実を図ります。特に、1階はプライマリーケアユニットとして、救急部、総合内科、小児科が配置され、昼夜を問わず患者さんに適切に対応します。必要があれば各専門診療科と連携するというシステムで運営されます。地上9階、351床、手術室8室(4室は内視鏡手術対応)で、実践教育や生涯学習にも対応できるように配慮されています。また、周辺道路の拡幅が行われ、救急車の進入と患者さんのアクセスを容易にします。緑と川を視野に入れた新病院は患者さんだけでなく、病院で働く人にも優しい環境を作ります。青戸病院のリニューアルは長年の念願でした。

また、本院外来棟の建築に向けた準備が行われつつありますが、西新橋キャンパスに関する様々な問題を解決しなくてはなりません。今年、準備委員会を立ち上げるなどして、より具体的な検討に入ることになると思えます。

社会の共感と高い評価が得られる医科大学を目指して、本年も皆さんと共に怠りなく歩んでいきたいと思えます。



特集

慈恵医大における臨床研修を考える

平成16年度から改正された新臨床研修医制度は、本学にも大きな変化をもたらした。本学以外の卒業生が本学で研修を受け、逆に本学の卒業生が本学以外の施設で研修を受けている。この2年間と3年間の後期研修を合わせた5年間の卒後臨床研修に、慈恵としてどう取り組み、どんな課題があるのか。教学委員長と各附属病院の研修責任者から話を聞いた。

出席者

教学委員長（糖尿病・代謝・内分泌内科 教授）
田嶋 尚子
 附属病院 臨床研修センター副センター長
宇都宮 一典
 柏病院 研修管理委員長
佐々木 敬

青戸病院 研修委員長
根本 昌実
 第三病院 研修管理委員長
平本 淳
 大学広報委員会委員長
阿部 俊昭 (司会)



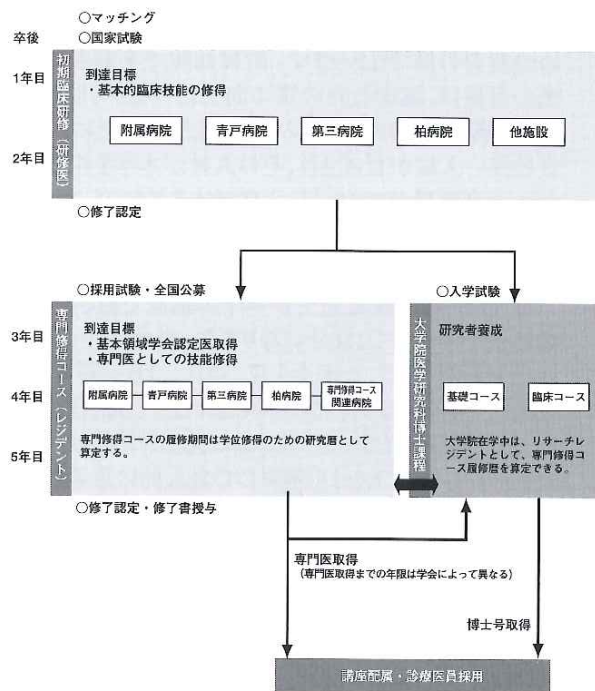
司会
 大学広報委員会
 委員長 **阿部 俊昭**

現状 2年間の新臨床研修医制度で大きく変わった卒後教育

司会 平成16年から医師の臨床研修制度が大きく変わったわけですが、その経緯と問題点はどこにあるのでしょうか。

宇都宮 2年間の臨床研修（初期研修）が義務化されたのですが、主な目的は医師としての基本的な臨床能力の習得にあります。内科、外科、麻酔科、救急を基本研修科目とし、小児科、産婦人科、

東京慈恵会医科大学における卒後臨床研修の流れ



附属病院
 臨床研修センター
 副センター長 **宇都宮 一典**

4病院のプログラム（平成21年度）

第1年目													第2年目												
← 基本研修科目 →												← 必須科目 →	← 選択科目 →												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
6						3			2		2		2		1	1	1	6							
内科						外科			麻酔部		救急		小児		産婦	精神	地域保健	選択科目×6ヶ月							

第1年目													第2年目												
← 基本研修科目 →												← 必須科目 →	← 選択科目 →												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
6						3			3		2		2		2	1	1	4							
内科 (うち3カ月は総合内科)						外科			麻酔部		救急		小児		産婦	精神	地域保健	選A選A選A選A 選A選A選A選B 選A選A選B選B 選A選B選C選C 選A選B選C選D							

第1年目													第2年目												
← 基本研修科目 →												← 必須科目 →	← 選択科目 →												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
4				2		2		2		2		1	2	1	1	1	4								
内科						外科			麻酔部		救急		内科		精神	小児	産婦	重症患者管理	地域保健	選F 選G 選H 選I 選J選K 選L選M選N選O					

第1年目													第2年目												
← 基本研修科目 →												← 必須科目 →	← 選択科目 →												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
6						3			2		2		2		1	1	1	4							
内科						外科			麻酔部		救急		小児		産婦	精神	地域保健	選A選A選A選A 選A選A選B選B 選A選A選B選B 選A選B選C選D							

精神科、さらに地域医療、保健所研修が必須科目となり、履修が義務付けられました。また、希望の病院で研修が受けられるようにマ

atchingシステムが取り入れられたことも大きな特色です。初期研修の場として全国の大学病院や研修病院に自由に応募することができ、マッチングされれば希望の病院で研修を受けられるようになりました。各病院の研修プログラムと到達目標が公表され、履修内容が明らかになったばかりでなく、研修医を確保するために、各病院が魅力ある研修プログラム作りに取り組む努力をするようになったことは大きな改善点だと思います。

ただ、医学部の卒業生が大学病院から研修病院にシフトし、その結果、地方の大学病院では入局者が激減して、医師の偏在化を加速したと言われていることや、専門医を育成する後期研修にどうつなげていけるかが、大きな課題になっています。

司会 初期研修のプログラムをどう組むかが問われているわけですね。現在の大学の附属病院の研修プログラムにはどんな特徴があるのでしょうか。

宇都宮 現在4病院はそれぞれ独立したプログラムの中で、研修医を採用しています。本院では、基本研修科目と必須科目を受けた後の残り6ヶ月間は、自由に科目を選択できるようになっています。幅広い診療科目を持つという本院の特徴を活かしたプログラムです。

座談会

慈恵医大における臨床研修を考える



第三病院
研修管理委員長 平本 淳

根本 青戸病院は、麻酔部に3ヶ月、産婦人科に2か月を当て、選択は4か月にしています。今年4月からは救急部が立ち上がるので、救急医療も充実してくるでしょう。

平本 第三病院では、途中でプログラムの変革に取り組みました。プライマリケアの要である内科での研修を、1年目は4か月だけにして、2年目に2か月間シフトしました。また、専門を決める前に回れ

ていない診療科を経験できるように、選択科目を1年目から2ヶ月間設定しました。今までも、指導医と研修医の希望を聞きながら、独自にプログラム全体の改訂に取り組んできました。

佐々木 柏病院は、選択科目が他機関と比較すれば少ない病院ですが、プライマリケアから救急医療まで体験できる地域の中核病院としての特徴を活かして、重症患者管理のプログラムを取り

入れています。また、評価システムとしては、オンライン臨床研修評価システムのEPOCだけでなく、研修内容を基にした独自のポートフォリオ評価を取り入れています。

宇都宮 平成16年以降の応募状況を見ると、4病院合計の定員110名に対して、例年200名以上の応募があり、80名から90名程度を採用しています。特に顕著なのは全国の他大学からの応募が年々増加していることで、来年度は過去最高の31名を占めています。一方、本学の卒業生からの採用は一昨年から減少しています。慈恵の卒業生の約半数が学外の臨床研修

1. 平成21年度初期臨床研修医採用者内訳(全体)

	本学		他学		男	女	計	募集定員
	男	女	男	女				
附属病院	10	10	11	11	21	21	42	49
歯科			1	1	1	1	2	3
青戸病院	5	1	0	1	5	2	7	9
第三病院	10	2	1	6	11	8	19	24
柏病院	7	6	1	0	8	6	14	25
計	32	19	14	19	46	38	84	110
	51		33					

2. 平成21年度初期臨床研修医採用者内訳(他学率)

岩手医科大学	3※	東京女子医科大学	3※
金沢大学	1	東邦大学	3※
関西医科大学	1	日本大学	1
北里大学	1※	浜松医科大学	1
杏林大学	1	広島大学	1
久留米大学	1	藤田保健衛生大学	1
昭和大学	2	山口大学	2
聖マリアンナ医科大学	4	和歌山県立医科大学	1
東海大学	1※		
東京医科大学	3※		
合計 31名		*歯科2名は含めず	



青戸病院
研修委員長 根本 昌実

病院で初期研修を受けている状況です。

◆ 課題
大学病院としてのスペシャリティを
どう初期研修に取り入れるのか

司会 本学における臨床研修の課題はどんなところにあるのでしょうか。

田嶋 新しい臨床研修制度は、良い医師を社会に送り出すために医学教育がどうあるべきかという考え方のもとに作られたものですが、卒前教育と卒後教育を通して全人的に医師を育成するという、以前から本学が取り組んできた医療人の育て方に、やっとなが追いついてきたと感じています。

ただ、現在、卒前教育から卒後教育まで、一連のスムーズな流れができてきているかという点、まだ十分ではありません。個々のプログラムは良く考えられています。4病院全体として考えていくべきでしょう。本院はコモディティーズが少なく、他の附属病院では専門性の高い疾患が少ないという特質を考慮して、もっとタスキ掛けの相互交流があっても良いと思います。それによって後期研修も含む卒後教育にスムーズにつながるのではないのでしょうか。

宇都宮 平成21年度は、本学で後期研修を受けるレジデントは126名です。学外で初期研修を受けた者の約半数が戻ってきます。今後も他施設で初期研修を受けた卒業生をどれだけ後期研修で本学に戻せるかが課題です。

本院の初期研修修了者に対するアンケート調査では、「環境が整っている」「先端医療が学べる」といった点がメリットとして挙げられている一方で、「風邪や急性胃腸炎などコモディティーズを診る

機会が少ない」「地域の保健所では十分な研修効果が得られない」といった課題が挙げられています。

一方、指導医に対するアンケート調査では、指導医と研修医が相互に評価するEPOCの妥当性についての疑問や、年2回行われる指導医講習会の負担の重さが指摘されています。

根本 青戸病院は募集人員も少なく、慈恵の卒業生が大半を占めているためか、研修医のやる気や能力は高いと思っています。逆に指導医のレベルにばらつきがあって、どうレベルを安定させるかが課題です。

青戸病院は、本院と違ってコモディティーズを学ぶ機会が多く、ゼネラルに医療を見ることができ、内科を初めとして「多くの様々な症例を経験したい」と考える人向けなのかもしれません。

平本 第三病院もコモディティーズが多いことが特色です。また院内に寮があって、落ち着いて仕事に取り組むことができるのもメリットです。

ただ、指導体制についてはまだ問題もあると思っています。指導医がどうしても診療で忙しく、研修医とのコミュニケーションが不足しがちです。内科の8つの診療科の中でも、科によって温度差があるようです。アンケートを見ると「溶け込みやすいがサボれてしまう」「自分でやらないと学べない」といった、研修医のモチベーションで差がつくのが実態です。甘えといえばそれまでですが、研修カリキュラムを改善する必要があると考えています。

佐々木 柏病院の特徴は、救急の指導体制です。この点については以前から、内外で評価されています。コモディティーズから3次救急のレベルまで、多岐に渡り、指導もしっかりしています。大学病院

座談会

慈恵医大における臨床研修を考える

座談会

慈恵医大における臨床研修を考える



柏病院
研修管理委員長 佐々木 敬

でありながら、一般病院に近い経験もできるので、モチベーションは高いと思いますね。特に本学の学生はコモディティーズを重視する傾向が強いですから、一般病院のような魅力を持つ必要があると思います。

地域・保健では、来年度から佐渡総合病院での研修を取り入れ、コモディティーズだけでなく、外来や救急、入院後の経過なども経験できるようになります。

田嶋 コモディティーズを学びたい人は、本院より分院、あるいは一般病院を選ぶ傾向がありますが、コモディティーズだからこっそり診る力が必要です。コモディティーズを診ることが得意な総合医でありながら、大学病院ならではのプラスアルファを身に付けた医師を育てていくべきでしょうね。

対策 バランスがとれた研修プログラムで
全人的な医療を目指す医師を育てる

司会 医師としては、ジェネラリストとスペシャリストの両方が必要とされています。いくらコモディティーズを体験できても、指導体制がしっかりしていなければ身につくものも少ないのではないのでしょうか。
宇都宮 確かに、忙しければ良いというものではありません。それぞれの疾患をしっかり診ることが必要ですし、その中からアンコモンを見出す力も身に付いてきます。問題は、コモディティーズと専門性のバランスをどうとるかです。

このギャップを埋めるために、平成21年度以降にいくつかの改善を予定しています。1つが、本院と分院それぞれの特色を活かして、相互交流を深めて、4病院のプログラムの流動性を高めること

です。

もう1つが、地域医療研修の充実です。例えば、本院では、新潟県の小千谷市と魚沼市で在宅医療研修を1カ月間行います。両市には本学OBで熱心な指導医がいらっしゃるの、地区医師会の協力のもと、大学病院では経験できないプライマリケアを学んでもらおうと考えています。在宅医療では診療のコーディネーションも経験できますし、地域医療の次世代の担い手を育成することにもつながると期待しています。

田嶋 本学の同窓が関係していると交流しやすいだけに、OBとの関係の強化は重要です。内科でも外科でも地域の医療を学ぶことは、大切ですし、国の狙いでもあります。

宇都宮 もう1つが選択科目研修の可塑化です。1年目から各人が指向する志望科目を経験させることは、指導医のモチベーションにもつながるのではないかと思います。また、周産期医療や集中治療など、テーマを掲げた横断的研修カリキュラムも提案されています。

佐々木 分院は“ミニ本院”を目指すのではなく、かといって一般病院になるのでもなく、地域において地域のNO.1として、地域の中で最高峰の医療を学べることをアピールしていくべきでしょうね。

慈恵の学生は優秀ですから、その気になればどこでも研修を受けることができます。腕試しに他の病院に行ってしまうように、本院と分院で違った良さを前面に押し出すことが必要です。

平本 第三病院では、地域医療を学ぶために、最初は保健所での研修を実施してきましたが、今は柏江市や調布市など近隣の開業医のところでも在宅療養も含めて研修しています。この開業医



教学委員長
(糖尿病・代謝・内分泌内科 教授) 田嶋 尚子

の約半数が本学のOBで、研修としても好評です。
田嶋 私たちが出来るだけ良い研修プログラムを考えるのは当然ですが、学生の意識としては、自ら学ぶ姿勢を持っていただきたいものです。教えてもらうことを求めるだけではなく、自ら何を学ぶのか考えて欲しいと思います。そういう姿勢が、全人的な医療を目指す本学の学生にとって必要ではないでしょうか。

今後 慈恵ならではの特性を活かして
ワンランク上の教育を目指す

司会 本学としては“病気を診ずして病人を診よ”という変わる事のない建学の精神がバックボーンにありますから、それに則った独自の制度を考えていくべきですね。また、大学病院ならではの、ワンランク上の体験ができるような仕組みも必要だと思います。

根本 青戸病院では総合内科の研修を前面に押し出していきたいですね。総合内科で内科と救急の研修を行っていますが、診られる疾患の範囲は広いですが、常に総合内科専門医と診療するので勉強になります。そして院内に多くの専門医が近くにいるので高度な医療についても触れることもできます。総合内科は、一般病院にはない強みになるでしょう。

宇都宮 本学の後期研修はすでに10年の歴史があります。大学病院として他に先駆けて独自に取り組んできました。臨床医として一生の基盤が形成される卒後の5年間、一貫した眼で育てていくことが、大学病院としての強みだと思います。

今後は、本学の研修プログラムのコンセプトを全

国に、どうアピールするかが大きな課題です。応募者数を他学と競うのではなく、本学の理念に適したマインドを持つ学生をいかに集めるかが重要なのです。そのためには大学病院ならではのキャリアパスや本学がめざす社会的使命を明確に示すことが大切です。

司会 世界レベルで活躍している本学の医師の姿などを通して、やる気や夢を与えることも重要ですね。

田嶋 学生はそれぞれ将来の計画と夢を持っています。それをかなえられる手段がここにあることを示すことが大事ですね。それを作るのは慈恵としての総合力です。私たちとしては総合力を高めていく努力を続けていくことが重要です。

4附属病院の研修システムにはそれぞれ違いはあります。しかし、核となる部分は共通で、付加的な部分がユニークで、4附属病院間で柔軟に交流できるようにタスキ掛けになっていけば、全体として魅力的なシステムを実現できるはずですね。それを分かりやすい形でアピールすることも、今後考えていくべきでしょう。

卒前教育を充実させるとともに、卒後教育につなげる流れも明確にしていきたいですね。それによって卒前教育の価値も高まり、より慈恵らしい優秀な人材が集まってくるでしょう。

司会 大学はダイヤモンドの原石を拾って磨くところですね。これからも教育者として力を合わせて夢のある教育を実現していきたいですね。本日は、ありがとうございました。

(追記:平成22年度から、臨床研修制度の大幅な改定が予定されている。)

腎臓の再生

透析に代わる次世代の
治療法を開発する



DNA医学研究所プロジェクト研究部
腎臓再生研究室
腎臓・高血圧内科 横尾 隆

幼少時に、「人造人間キカイダー」という正義の味方のロボットが、悪の組織と戦うという子供向け娯楽番組があった。このキカイダーは体の一部が壊れるとその部分だけ新しい部品に代えることで、いつでも新品同様（生まれたまま）の状態を維持できる。なぜだかこのシーンに衝撃を受け、人間もこのように出来れば病気なんかなくなるのにと幼心に思ったことを記憶している。これこそが再生医療の根源であり、傷害を受けた組織、臓器を薬剤で何とか修復しようとするのではなく、新しいものを作って取り替えてしまおうという概念である。この作り話のような出来事が昨今の科学技術の進歩により“次世代の夢の治療法”として一部現実化している。特に皮膚や角膜などの再生医療は実際に臨床の現場で用いられ始めている。

この再生医学研究の中で最も遅れているとされているのは腎臓である。理由は解剖学的に非常に複雑で、その複雑な3次元構造を忠実に再現しなければ臓器としての機能が再生されないことである。したがって残念ながら現時点では腎臓を再生するのは不可能であるとあきらめられている。さらに腎臓の場合、透析によりとりあえずの延命が可能であるため、死亡に直結せず研究の緊急度、要求度が低いと認知されていた。

しかし現実には腎臓の問題は非常に深刻であり、高齢化や糖尿病の増加により爆発的に増え続ける透析患者に対応する医療費が底をつき、透析医療は行き詰まった医療経済の最大の課題になっており、このままでは破綻が避けられない状況である。さらに腎臓は患うと回復が非常に難しいうえに、昔に比べて寿命も延びているので、そのぶん患者も苦しみ時間が長くなっている。つまり患者の忍耐も医療経済も限界を迎えている状態にある。

このような現状を何とか救いたいと“腎臓を再生して透析に代わる次世代の治療法を開発する”という無謀ともいえる課題に挑戦するため発足したのがDNA医学研究所プロジェクト研究部腎臓再生研究室である。

DNA医学研究所プロジェクト研究部は、学内で遂行されている研究課題の中より、公募により選定されたプロジェクトに対し大学が研究の場を提供し、支援する目的で、平成19年10月にDNA医学研究所内に設置された。腎臓再生研究室は最初を選定されたプロジェクトチームであり、母体は腎臓・高血圧内科にある。

研究室というと、一日中基礎研究をしている場所というイメージになるが、実はそうではなく日中は腎臓専門医として臨床に従事し、夜な夜な集まり研究を遂行している。臨床に従事することは、一見遠回りのように見えるが、実は腎臓病患者と常に接することにより目的がぶれずに研究を展開できるという利点がある。つまりサイエンスとしては大変興味深いことでも、実際に臨床応用には役に立たなかったり、実は遠回りしている研究の“深み”にはまらずに、最短距離を目指すのではないかと考えている。したがってあえて臨床、研究、教育の3足の草鞋を履きこなすことが本研究室には求められる。

では腎臓という複雑な臓器をどのように再生させようとしているのか。それは実際に腎臓を作っている“発生中の胎仔に直接お願いする”ということである。つまり我々脊椎動物はもともとひとつの受精卵であったが、わずかな時間に分化の過程でいろいろな刺激を受け個体へと発生していく。その発生段階において腎臓もわずかな細胞群であったものから非常に複雑な構成単位を形成していく。つまりわずかな時間に時間的空間的にプログラムされた多種多様のシグナル

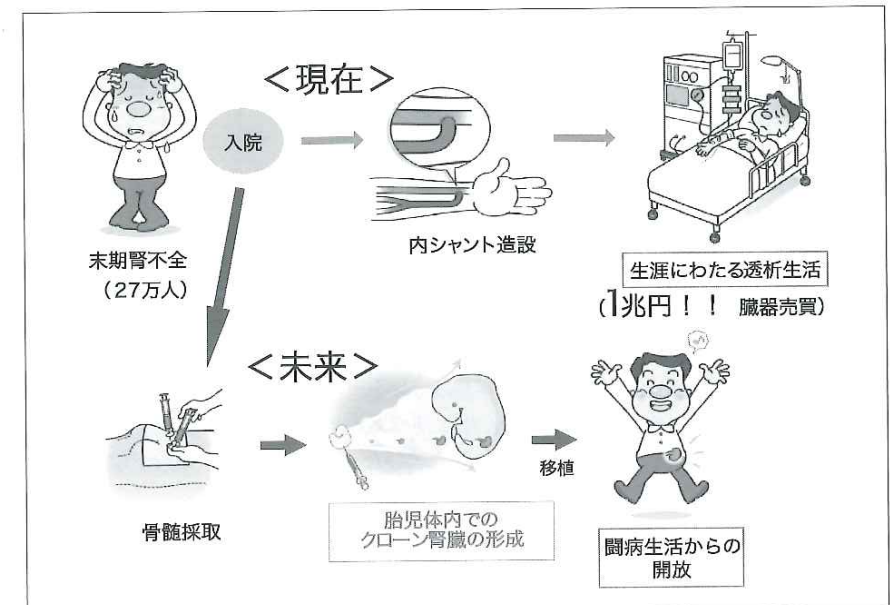
が3次的に一分の狂いなく作用しあうことにより個体間で殆ど差がない臓器が形成される。これらの因子がすべて明らかになればその刺激を順次加えることにより再生腎臓は作り上げることができると思われるが、少なくとも現時点では未知の分子も多く不可能といわざるを得ない。そこで我々はこの未知の部分すべて実際の個体の持つ能力に任せることにした。つまり外来の間葉系幹細胞を中腎管の発芽する部位に注入し、成長する胎児内で培養することで、発生段階と全く同じ環境下に置き、腎臓発生時の各種因子のプログラムと全く同様の刺激を与えれば外来の細胞が腎臓まで分化できるのではないかと考えたのである。これまでヒト骨髄由来間葉系幹細胞からヒト腎臓をラット大網内に作成することに成功した(図1)。この再生腎臓は尿生成能やエリスロポエチン産生能を維持していることが確認されている。現在ヒト臨床応用を目指し、さらにブタ胎仔を用いたスケールアップシステムの開発を行っている。また異種部分を完全に排除してより安全性の高いシステムの開発などを行っている。

現在研究室には少人数しか属していないが、この腎臓再生という夢を追う研究者が他施設からも集まり大きなコンソーシアムを形成し我々をサポートしてくれている。また学内の解剖学教室や泌尿器科学教室からも多大なるご協力を頂いて研究が進められている。この方々のご協力に感謝するとともに、今後は是非、慈恵医大の緒先生方にも多方面からのサポートをお願いしたいと思う。また我々のシステムは他臓器にも応用が期待され、また幹細胞のバイオロジーにも精通しているため、再生医療に興味がある方は是非お声をかけていただきたい。我々で出来ることなら何でも協力するつもりである。

我々の目指す未来予想図を図2に示す。まさか30年以上前に想像した「人造人間」でなく、「腎臓人間」を作ることになるとは夢にも思わなかったが、今後“世界初”“慈恵発”の成果として腎臓再生を現実化させていきたいと本気で考えている。



(図1) ラットでの成功を報じる新聞記事



(図2) 我々の目指す未来予想図

患者第一主義 “Placing the Patient First”

麻酔科学講座
教授 上園 晶一



“良い医者”になるためには、良い師匠、つまり尊敬できる医師を見つけることが必要だと私は思いますが、私の経験からすると、本当に尊敬できる先生に出会えるのはなかなか難しく、もし会えたなら、非常に幸運だということができます。私がアメリカのボストン小児病院で小児麻酔のフェロー（専門分野の研修医）をしていた頃に出会ったBerde先生は、私が最も尊敬する先生のうちの1人です。この先生と一緒に仕事ができただけでも、ボストンで研修を受けた意味があったと思います。

Berde先生は、小児科、麻酔科、小児集中治療、ペインの4つの専門医資格を持ち、特に、小児の疼痛治療については世界的な権威として知られています。これだけの肩書きを見ると近寄りた感じがしますが、一緒に働いてみるとまったく偉ぶることがなく、教育熱心で常に頼りになる先生だということがすぐにわかりました。そう思うのは私だけでなく、同僚の麻酔科医、他科の医師、コメディカル、そして何よりも、患者とその家族から絶大な信頼を寄せられていました。実際、彼を必要とする人からの電話で、彼のポケベルはいつも鳴っていました。

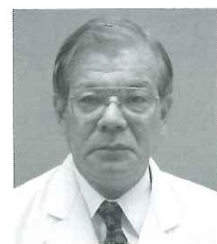
ある日、そのBerde先生に、「なぜあなたは、そんなに患者や家族から信頼されているのか」と聞いたところ、私の肩をたたきながら、「I may not cure the patient, but I do care therefore I am. (自分は患者を治すわけじゃない、でも患者のことはいつも気にかけている、自分の存在意義はそこにある)」とおっしゃっていました。実際には彼は痛みのある患者を治療しているので、謙遜してそう言ったのだと思います。しかし、彼の言葉は「麻酔科医」という医師の本質をついています。たしかに麻酔という診療は、外科治療とちがって、治療行為ではありません。だからといって、麻酔科医は医療を施していないというわけではなく、むしろ、患者全体を診てケアしているのだというのがBerde先生の意図するところでした。彼は、麻酔科医としての強い責任感を、身をもって私に示してくれました。そして、患者に接するときの彼のポリシーというものを私に教えてくれました(ちなみに()は私の解釈です)。

1. 患者と話すときは、座って話す(患者と同じ目線で話せ)。
2. 身分証を常に身につける(自分が何者か患者に知ってもらえ)。
3. 毎日(自分の)患者を診る。
4. 患者に触れることを過小評価しない(ただ遠くから話すだけではだめだ。近寄って、脈を触れて、聴診器をあてよ)。
5. 意思決定の際に患者もできるかぎり参加させる(患者の権利を尊重せよ)。
6. 患者との約束は必ず守る。
7. 自分の言葉に責任を持つ(自分が軽く言ったことも患者はすべて覚えている。自分の言葉が患者にとってどんな意味を持つかを考えてから話せ)。
8. 患者の家族を意識する(患者には家族がいる。常にその家族のことも考えよ)。

Berde先生は、自分のポリシーを述べた後、「単純なことだろ、つまるところ患者第一主義(“Placing the patient first”）」だ。簡単に見えるが実践するのは決して容易ではない。」とはっきりおっしゃいました。私はその口調の強さにびっくりしたことを今でも鮮明に覚えています。

私は今の職にあって、レジデントや初期研修医、学生と向かい合うとき、Berde先生のことをよく思い出します。Berde先生のように、患者のことを最優先に考えているか、それを実践することで若い人の手本になっているか、教育に対して情熱を持っているかを自問自答しては、恥じ入ることがまだまだあります。しかし、Berde先生がおっしゃったことを常に実践しようと心がけています。最近、慈恵医大麻酔科に入局する先生が増えていますが、ひとりでも多くの先生に、Berde先生のハカ条を伝えるのが私の使命だと思っています。私が外来や病棟だけでなく手術室でも、いつもネームタグをつけていたり、聴診器を肌身離さず持っていたりするのはそういう理由からです。

診療と臨床研究



客員教授
笠原 洋勇

わが国の4名の基礎科学研究者が平成20年度の物理や化学の分野におけるノーベル賞を受賞しました。若い頃に手がけた研究の成果が高い評価をうけたうえでの受賞であると感じますと、驚きとともに感動せずにはおられません。

一方、臨床医が取り組む研究は、基礎的研究とは趣を異にします。臨床研究は、臨床医が、臨床に關する疑問を自ら発し、自らの症例を通して解き明かす研究であります。臨床医が取り組む研究は、患者や診療に直接還元できるものが多い点でもとても貴重であると思います。そして、臨床経験をつめばつむほどその可能性は広がります。

1970年代にさかのぼりますが、精神医学講座がWHOのうつ病国際協同研究の東京センターとして調査研究に参加したことがありました。評価尺度の妥当性の検討、診断の一致率を高める作業に始まり、うつ病患者のデータの作成、調査対象の予後調査を行う作業が4〜5年にわたり

続けました。大変な作業でしたが、筆者にとつて、この研究に参加できたことは、臨床研究の基本にふれる良い機会となりました。当時、うつ病は周期的に出現することから、再発を予防することが重要なテーマとなり始めた時期でもありました。駆け出しの筆者にとつて、その後のうつ病臨床への興味や関心を多に高めてくれることに繋がりました。

次のうつ病に関するまとまった研究に着手するまでに、かなりの時間が過ぎました。1994年になり、うつ病の再発予防プログラムと取り組む機会が巡ってきました。うつ病臨床にはずっと携わっていたことから、疾病教育や集団精神療法の間を持ちたいと思っていたこともあり、躊躇することなく取り組むことにしました。認知行動療法を用いたうつ病の治療は、一部で定式化されつつある中で、これを再発予防に利用することに大いにやりがいを感じました。そしてこの研究と実践は現在、若手研究者により継統中であり、若手研究者により継統中であり、若手

に比べ、発病状況が変わってきた。時代とともに社会の価値観が変化し、個々のパーソナリティも変わり、社会の価値観に折り合いをつけられず、うつ状態に陥る人が少なくありません。うつ病は、かつて働きの病気と言われていました。しかし最近では、社会と折りあえない人の病気へと変化しています。このような病態の変化については、まだ十分明らかにされていない点も多く、今後の検討課題だと思えます。これらを明らかにする方法は臨床研究であり、解明するために大切な手法であります。

日々、積み重ねた診療が臨床研究に結びつき、臨床研究が再び診療に活かされる繰り返しが、これまで以上に定着される必要があります。ノーベル賞研究には、遠く及ばなくとも臨床研究に裏打ちされた診療は、臨床家の夢のひとつだと思えます。諸先輩方から学んだことを若い世代へ引継ぎ、根づかせることができるのであれば、それは積み重ねの臨床の伝統がもたらしたものだと思えます。



名誉教授
松田 誠

第十三話

高木軍医総監の診察風景

綿谷 雪編「幕末明治実歴譚」の中に、高木兼寛が講談師・桃川如燕を診察する興味深い場面があるので、それを多少変更してここに紹介する。

七、八年前（明治24、5年頃-筆者）、軍医総監の高木先生のところに人の集まりがありました。そのとき如燕に講談をやれということになりました。人の集まりますまで、先生が自分の居間へ如燕を呼んで、茶などを喫ませまして、

先生「如燕、どうも、いつも達者でよいな」
如燕「有難う存じます。おかげをもちまして、私は薬を一服飲んだことがございませぬ。少し気が閉じますと、熱爛にして二、三本も引っかけますと、それでもう快気いたします。それだけが如燕の得でございます」

先生「それは何よりだ。だけれども、あまり年をとってから酒をたくさん飲んじゃいかぬ。それに貴公は、だいぶ婦人が好きだそうだな」

如燕「ヤ、どうも、これは御前のお言葉とも存じませぬ。好きと申すでもございませぬが、しかし一夜でも一人では寝にくうございます」

先生「それがどうも困るテ、ドレ身体を診てやろうか」

如燕「それはどうも有り難う存じます。御前のお手を頂戴いたしますれば、如燕もこの上なく有難いことに存じます。どうかよろしく御診察を願います」

と、それから高木先生こまやかに診察して下さいまして、

先生「如燕、貴様は珍しい身体だ。まず千人と言いたいところだが、万人にもない良い身体だ」

如燕「ハハア、左様でございますか」

先生「胃も良し、肺も十分なり、殊に腸などは申し分ない。脳も良し、これといって憂うところがない」

如燕「死にませぬかナ」



先生「冗談いっちゃいかぬ。死なぬことはない。迎えが来れば死ぬ」

如燕「左様でございますか」

先生「しかし病のために苦しむようなことはない。まず体格は申し分ない。どうも貴様は音声も出るわけだ。実に膜の備えなどは至極揃っている」

如燕「ハハア、どうも有り難う存じます。わずらいませぬか」

先生「わずらわぬ、病に倒れるようなことはない。半年寝ているの、一年わずらうということはないから、心配いたすな」

如燕「イエ、どうも、大医が左様仰って下さったので、如燕はすこし生き延びましたような心持ちがいたします」

先生「然し、念のために言うて置くが、油断をしてはいかぬ。貴公の身体は壮健に相違ないが、けれども鉄のようなものだ」

如燕「とはまた、どういうわけでございますか」

先生「鉄はたいそう丈夫なようだが、脆いからぼきりと折れる憂いがある。如燕の身体もその通りで、大そう壮健のようだが、その代わりぼきりと折れるようなことがあるから、気をつけねばいかぬテ」

と言うと、自体胆の小さい人でございますから、

如燕「ヘエ、折れますかな」

先生「今ではないが…」

如燕「今折れたら大変でございます…いつごろ折れましょう」

先生「それはどうも、わしにもわからぬ。まず暴飲暴食をつつしんで、運動は十分しているだろうけれども、好きな酒だと申して一日に二升も三升も飲むようなことがあるとよくない。それがために病を惹き起こして、おのれの寿をおのれで詰めるようなことになる。マアマアわしの診察では、いよいよというときに脳溢血か何かでぼっくり逝くだろう」

これを聞いて、如燕もだいぶ酒をつつしんだようですが、それにしましても、大家の申されたことは間違いのないもので、如燕はまるで床について人事を弁じないというのはようよう一日半ばかりで、まことにどうも眠るがごとく、鉄の折れるがごとく往生を遂げました（明治31年-筆者）。あのくらの名医になりますと、その先のことがわかるものと見えます。

度忘れ



神経内科・教授
持尾 聰一郎

最近、毎週日曜日午後になると植物園や催事に出掛けています。八十七歳の母が「昨年からの「度忘れ」を超えて「物忘れ」がひどくなってきました。平成十四年に父が他界した後は気丈に北九州で一人住まいをし、時々は一人で上京出来ていました。しかし、一昨年から「戸棚に入れていた飛行機のチケットとお金が無くなった」と電話が掛かってくるようになったり、同じ内容の話の繰り返しが多くなってきていました。その頃から、一人での生活に不安を感じたようで、東京のどこかの老人ホームに入りたいとの希望を申し出しました。そこで、二昨年の六月から川崎市の老人ホームに入所することになりました。しかし、一旦入ってみると、母の想像していた雰囲気と違ったこともあったようで、また、自分で希望したことも忘れて、閉じ込められたという被害妄想、不安、興奮などが出現し、九州に帰りたとい一日に何度も電話が掛かってくるような大変な時

期がありました。入所三カ月位でどうかホームに慣れてきて電話も少なくなりました。母は幸いにも足腰には問題がないので、冒頭に述べたように、寝たきりにならないよう散歩に連れ出ししたり、興味を持っていると思われるようなインパクトのある(覚え込み易い)催事に連れ出しているのです。

このような母の「物忘れ」とは無関係ではありませんが、私が神経学を志したきっかけは広い意味では記憶障害で、いわゆる「度忘れ」がどうして起きるのかと学生時代に疑問に思ったからです。人の顔は覚えていても、その人の名前が浮かばなかったりすることがあり、何故かなと思ったりものでした。私は「引き出し説」を考えました。常に出し入れに使っている机の引き出しは滅多に開けない引き出しよりスムーズに開け閉めすることが可能です。

記憶のメカニズムは記録(覚え込むこと)、保持(脳内に維持す

ること)、再生(想起・思い起こすこと)の三つから成っており、そのどこが障害されても記憶障害が出てくるので、「度忘れ」しないためには常に出し入れしておく必要があると考えたのです。現在、私自身、その方面の研究を行っているわけではありませんが、上記の三つの働きに脳の側頭葉中心に神経回路が考えられており、全く根拠のない空想ではなかったように思っています。

その当時はアルツハイマー病はそんなに多い疾患ではありませんでしたが、近年、高齢者が増加したこともあり、患者が増えて社会問題になっていることは周知の事実です。しかし、自分の母が罹患するとは思っていませんでした。今ではあらためて他人事ではないように思っています。

約四十年前学生時代のことなどをとらつらと考えながら、家内と一緒に母を連れて今日もまた梅を見に出掛けています。

The JIKEI NEWS FLASH

学内ニュース

新任教授紹介

- ①講座名・氏名 形成外科講座 内田 満
②専門分野 顔面形成外科学、手の外科
③主な略歴 昭和56年 東京慈恵会医科大学卒業
昭和60年 同大学院医学研究科修了
平成3年 形成外科講師
平成8年 助教授、平成15年教授を経て、平成20年8月形成外科主任教授就任
④出身地 東京都
⑤趣味・特技 ゴルフ、コントラクトブリッジ
⑥一言メッセージ 形成外科は内臓以外の全身のほとんどの部位で、形態と機能を手術的に修復・再建することにより、生活の質の向上を図る科です。

優れた形成外科医であると同時に、良き社会人、良き慈善人でもある医療者が、本講座から多く育ってくれることを目標としています。



- ①講座名・氏名 薬理学 初山 俊彦
②専門分野 中枢シナプス(特に大脳基底核)の生理学および薬理学
③主な略歴 昭和63年 京都大学医学部卒業
平成2年 京都大学医学部助手(薬理学第二講座)
平成6年 英国University College London 研究員(Department of Pharmacology)
平成8年 長崎大学医学部助手(生理学第二講座)
平成11年 岡崎国立共同研究機構(現自然科学研究機構)生理学研究所助教授(脳形態解析部門)
平成20年 本学薬理学講座教授就任
④出身地 東京都
⑤趣味・特技 趣味ではありませんが、音楽はanother lifeworkです。
⑥一言メッセージ 電気生理学的手法を用いて、中枢シナプス伝達修飾機構およびその生後発達変化の解析を行ってきました。私が研究を始めた頃から

受容体、チャネルのクローニングが盛んに行われ、次いでそういった分子構造と機能との対応関係が議論されてきました。このような構造と機能との関係を単純な対応として理解してしまうとそれなりに心地よく、安心できるものですが、実際は生体を取り巻く様々な条件、パラメータによってダイナミックに変動するものであり、今後はそれらを踏まえた徹底的な解析が要求されます。そしてそこに実験科学としての薬理学の醍醐味があると考えます。この点を常に念頭に置きつつ今後も中枢シナプス、シナプスの機能を探索する所存であり、薬理学の醍醐味を学生諸君に伝え、共有することができれば幸いです。



第三病院七タロビーコンサート開催

平成21年7月4日(土)に中央棟1階食堂にて毎年恒例の七タロコンサートが開催され、多くの患者さんと楽しい時間を過ごしました。

本学音楽部の学生が「たなばた」や「夏の思い出」などその他たくさんの楽しい曲の演奏がありました。

これからも患者さんに楽しんで頂くために、教職員一同が協力して頑張っていきたいと思えます。



看護師復職支援研修

青戸病院看護部

青戸病院看護部では平成20年度より東京都看護職員地域就業支援病院の指定を受けて、看護の職場から離れ、再就職を考えている方の復職支援を行っています。

この研修は、免許は修得したものの結婚や育児で長時間離職中の看護師の再就職推進を目的としています。

今年度は第1回を平成21年9月、第2回を平成21年11月に第3回を平成22年2月に研修を行いました。

研修対象者は、看護師、保健師、助産師、准看護師の資格を有する方で、看護師として再就職を考え且つ就職先が決まっていな方としています。



研修の内容は、最新の医療、社会情勢の変化や看護の動向に関する講義、採血・注射・コミュニケーションなどの実技演習と、病棟における看護体験で、コース別にプログラムされています。

平成21年11月の第2回研修には6名の方が受講し、実習をすることで看護師をしていた頃の感覚が蘇ってきたなどの声も多くありました。

青戸病院看護部
東京都看護職員地域就業支援施設として
再就職を考えている方を応援します！！

「夢のある調布のまちづくりを大学と共に」
Let's Challenge!

研修内容：看護学、保健師、助産師、准看護師の資格を有する方
が対象として再就職を考えている看護職員が対象です。研修
内容は最新の医療に関する講義、採血・注射・コミュニケーションなどの実技、
病棟における看護体験

日程：●基本研修 各日程1日(5日間)7日間コースあり
1. 平成21年 1型 9/28(1日) 2型 9/28-10/2(5日) 研修時間 9/17
3日 11/11(1日) 4型 11/11-11/17(5日) 研修時間 11/4
2. 平成22年 1型 2/2(1日) 2型 2/2-2/6(5日) 研修時間 1/26
3. 平成22年 1型 2/2(1日) 2型 2/2-2/6(5日) 研修時間 1/26

施設取組支援日
研修期間中、研修施設で研修希望の方、上記基本研修終了後、
研修が可能な、基本研修申し込みと同時申し込みとなります。

費用 無料

その他・自費の負担はなしです
自費負担した際は各自負担してください
申し込みがせぬ方が研修施設、研修中の研修料は発生せず
研修料は研修施設へ一律納入してください
研修料は研修施設の利用費として各自負担してください
申し込みが多数の場合は、先着順とさせていただきます

＜お問い合わせ先＞
東京都看護大学附属青戸病院
東京都調布区調布 6-41-2 03-3463-2111(内線 5725)
FAX: 03-3463-2111
看護部 部長 藤田 浩典 次長 荒木

医師・看護師の国家試験結果発表

第103回医師国家試験・第98回看護師国家試験・第95回保健師国家試験

第103回医師国家試験の結果が、平成21年3月27日に発表されました。合格者の総数は7,668名、合格率は91.0%でした。平成21年3月に本学を卒業した新卒業生102名が試験に臨み、101名が合格、卒業生も5名が合格を果

たしました。この度の試験において本学の合格率は98.1%となりました。

また、第98回看護師国家試験および第95回保健師国家試験の結果も発表されました。各校の合格状況は下表の通りです。

■第103回医師国家試験合格状況

区分	校数	総数			新卒業生			既卒業生		
		受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
本学	—	108名 (109)	106名 (103)	98.1% (94.5)	102名 (100)	101名 (96)	99.0% (96.0)	6名 (9)	5名 (7)	83.3% (77.8)
国立	43	4,484名 (4,509)	4,128名 (4,132)	92.1% (91.6)	4,110名 (4,075)	3,928名 (3,875)	95.6% (95.1)	374名 (434)	200名 (257)	53.5% (59.2)
公立	8	696名 (690)	657名 (650)	94.4% (94.2)	659名 (630)	639名 (612)	97.0% (97.1)	37名 (60)	18名 (38)	48.6% (63.3)
私立	29	3,187名 (3,265)	2,849名 (2,915)	89.4% (89.3)	2,846名 (2,782)	2,658名 (2,597)	93.4% (93.4)	341名 (483)	191名 (318)	56.0% (65.8)
その他	—	61名 (71)	34名 (36)	55.7% (50.7)	14名 (32)	9名 (17)	64.3% (53.1)	47名 (39)	25名 (19)	53.2% (48.7)
合計	80	8,428名 (8,535)	7,668名 (7,733)	91.0% (90.6)	7,629名 (7,519)	7,234名 (7,101)	94.8% (94.4)	799名 (1,016)	434名 (632)	54.3% (62.2)

■第98回看護師国家試験合格状況

	医学部看護学科	新橋	青戸	第三	柏
受験者数(名)	38	93	37	45	59
合格者数(名)	38	93	35	45	59
合格率(%)	100.0	100.0	94.6	100.0	100.0

■第95回保健師国家試験

	医学部看護学科
受験者数(名)	40
合格者数(名)	40
合格率(%)	100.0

青戸中学校BLS+AED講習会

青戸病院スタッフ、看護学校生、ボランティアの方々が出張講習会を開催

平成21年3月9日(月)の午後、看護学生含む青戸病院のスタッフと医療関係ボランティアの方々が青戸中学校へ出向き、卒業を前にした3年生98名を対象にBLSとAEDの講習会を開催しました。

この講習会は命の尊さや人命救助の大切さを学ぶための総合的な中学校授業の一環として行われ、今年で3回目を迎えました。多数の受講者を対象とした平日中の講習会なので、BLSを教えられるボランティアの人員確保が大きな問題となります。この難間に、看護専門学校より“3年生は国試も終わり卒業式までの期間なら協力できます”との申し出があり、実現の運びとなりました。看護学生にしてみれば、自分の知識を人に伝える体験の場であり、将来の看護師としての自覚に繋がっているようです。

当講習会は青戸病院の年度末の風物詩になりましたが、今年度で慈恵青戸看護専門学校が廃校となるため、看護学生がいなくなってしまう。大きな課題ですが、教職員の協力のもと、今後も継続し開催されることが望まれます。



シンポジウムに栗原敏学長がパネリストとして参加

“夢のある調布のまちづくりを大学と共に”

平成21年10月4日(日)、「調布市文化会館たづくり」にて調布市6大学相互友好協力協定締結記念事業(「市民が主役のまちづくり大学事業」～市長と6大学学長等とのシンポジウム～)が開催され、「夢のある調布のまちづくりを大学と共に」と題するシンポジウムに栗原敏学長がパネリストとして参加されました。

今回の記念事業は調布市の中・長期的な街づくりを視野に、調布市と協定大学との連携を一層充実させることを目的に開催されました。併設された大学の発表ブースには、高次元医用画像工学

調布市では文化、教育、学術、スポーツなどの分野で各大学相互に援助、協力しながら、調布市の街づくりに寄与することを目指し、平成15年より地域の大学である電気通信大学、明治大学、桐朋学園、白百合女子大学、東京外国語大学、東京慈恵会医科大学と相互友好協力協定を順次締結しており、本学は平成20年11月に協定大学に加わっています。



調布市6大学相互友好協力協定締結記念事業
「市民が主役のまちづくりを大学と共に」
シンポジウム

夢のある調布のまちづくりを大学と共に

平成21年10月4日(日) 午後1時15分～12:30

会場：たづくり会館 大会議室
〒142-0001 調布市調布6-41-2 03-3463-2111(内線 5725)

協賛：調布市、調布市文化会館、調布市6大学相互友好協力協定締結記念事業実行委員会

協賛：調布市文化会館、調布市6大学相互友好協力協定締結記念事業実行委員会

協賛：調布市文化会館、調布市6大学相互友好協力協定締結記念事業実行委員会

協賛：調布市文化会館、調布市6大学相互友好協力協定締結記念事業実行委員会

本学の教員が調布FMに出演

平成21年11月に調布市民を対象にしたコミュニティFM(調布FM)に、看護学科 母性看護学 細坂泰子講師が11月22日(日)放送の「生涯学習・市民活動のススメ」に出演し、本学の市民向けの公開講座の紹介を行いました。



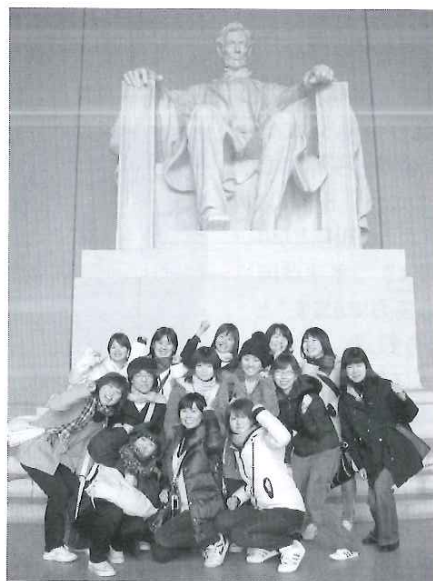
看護とは何かを考え直すよい機会となった アメリカ看護研修

看護学科 4年 兼久 七瀬

私たち看護学科4年生13名は、2009年3月15日から30日まで、アメリカのワシントンDCにあるプロビデンス病院でshadow nurseとして研修させていただきました。プロビデンス病院は1861年にリンカーン大統領の認可により設立された、148年余りの歴史を持つアメリカで最大の非営利組織の病院です。

アメリカ滞在中は、2名ずつに分かれてアメリカの家庭にホームステイさせていただきました。英語を使っている生活に四苦八苦しながらも、現地の生活や習慣を満喫することができました。休日や研修後には、各自で交通機関を調べ、たくさんの観光名所へ足を運びました。また、アメリカの多くの看護学生がしているように、病院への通学には公共交通機関を利用しました。

研修では、私たちが希望した診療科に行き、それぞれが看護スタッフに付き添い、医療的な処置、手術室内での看護、薬の重要性を説くグループワークなど、さまざまな場面を見学または体験させていただきました。カルテや物品を運ぶ機械や配薬



▲市内視察リンカーン記念堂で

車などの目新しい医療機器、パソコンでの内服管理や救急室(ER)での待ち時間管理など、日本では見かけないシステムも多くありました。

最も印象的であったのは、スタッフが誰に対しても気軽に挨拶し、話しかけていることでした。そのためか、病院内の雰囲気も明るく、スタッフの方々は楽しんで仕事をしているように感じました。また、それぞれの役割がはっきりとしており、各自の専門性を大切にしていることもわかりました。そして、見慣れないものとうまくいかない英会話に戸惑う私たち

に対し、スタッフの方々はフレンドリーに接して下さり、またできる限りいろんなものが見られるようにと気を使って下さいました。

アメリカ看護研修では、日本とアメリカ、それぞれの医療や看護の長所や短所を比較することができました。また、日本のよさを気付く機会にもなり、自分の中で看護とは何かを考え直すよい機会にもなりました。この研修により、感じたこと、学んだことを大切に、将来看護師として働く際に活かしていければと思います。



▲指導者のジャンスとともに



▲病院スタッフとともに



▶研修内容をクラスメイトや後輩に伝えるためにポスターを制作しました



▲修了証書を手

生涯学習

生涯学習センターをはじめとする各機関では、生涯学習のためにセミナーやフォーラムなどさまざまな取り組みを行っています。

慈恵医大生涯学習センター

●慈恵医大生涯学習セミナー

月例セミナーと夏期セミナーを開催し、受講者には「日本医師会生涯教育講座参加証(シール)」を交付致します。

■月例セミナー／開催日時:第2土曜日(休日を除く)
16:00~18:00(但し、1月、8月、10月、12月を除く)

場 所:慈恵大学病院中央棟8階会議室

月日(曜)	テーマ	演者
平成22年 3月13日(土)	実地医家のための画像診断再入門	画像診断部 福田 国彦 教授
平成22年 4月10日(土)	新型インフルエンザ パンデミックの1年を振り返る	感染制御部 小野寺 昭一 教授
平成22年 5月8日(土)	甲状腺機能亢進症の薬物治療	糖尿病・代謝・内分泌内科 東條 克能 教授
平成22年 6月12日(土)	変形性膝関節症 -保存・手術療法のトピックス-	整形外科 丸毛 啓史 教授
平成22年 7月10日(土)	スポーツにおける脳震盪 (なぜ防がなくてはならないか)	脳神経外科 谷 諭 教授

◎お問合せ先:慈恵医大生涯学習センター
電話:03-3433-1111(大代表)内線2634

東京慈恵会医科大学

●医療・保健 学びなおし講座

本学は名古屋市立大学が文部科学省の委託事業として企画した「医療・保健 学びなおし講座」に協力しています。ご自分の都合に合わせて、お聞きになりたい講義だけ受講することが可能です。名古屋市立大学のHPから申込むと、オンラインでの受講が可能になります。

学期	科目名	開催日
3学期 (2009年12月期)	お母さんのための クリニック復帰・スキルアップ	毎週木曜日 18:30~

◎お問合せ先:大学事務部
電話:03-3433-1111(大代表)内線2410

本院

●市民公開講座

■「愛宕山みんなの健康教室」

NHK放送博物館と本学の共催で市民を対象に健康講座を開催しています。

月日	時間	テーマ	講師名	会場
3月13日 (土)	13:30~ 15:00	高血圧と心臓病	循環器内科 医長 青山 尚文	NHK放送博物館 愛宕山ホール

◎お問合せ先:NHK放送博物館(健康教室係)
電話:03-5400-6900

青戸病院

●青戸病院公開健康セミナー

葛飾区医師会共催、葛飾区後援にて区民を対象とした公開健康セミナーを亀有地区センター(JR亀有駅南口駅前リリオ館7階)にて開催しています。

●青戸病院症例検討会(CPC)

近隣医師と教職員を対象におおよそ2ヶ月に一度症例検討会を開催しています。

●メディカルカンファレンス

近隣医師と教職員を対象に3、6月にメディカルカンファレンスを開催しています。

◎お問合せ先:青戸病院 管理課
電話:03-3603-2111(大代表)内線2671

第三病院

●第三病院公開健康セミナー

市民を対象に健康講座を開催しています。

回数	月日	時間	テーマ	講師名
第39回	4月17日 (土)	14:00~ 15:30	救急医療機関への上手なかかり方	救急部 河野 修三

●第三病院医療連携フォーラム

近隣医師と教職員を対象に、最新医療や医療問題その他のフォーラムを開催しています。

◎お問合せ先:第三病院 管理課
電話:03-3480-1151(大代表)内線3711

柏病院

●柏病院症例検討会(CPC)

近隣医師と教職員を対象に年2回症例検討会を開催しています。

●柏病院地域医療連携フォーラム

近隣医師と教職員を対象に、地域医療の連携についてフォーラムを開催しています。

◎お問合せ先:柏病院 管理課
電話:04-7164-1111(大代表)内線2185

慈恵医師会

●慈恵医師会産業医研修会

7月に開催をしています。(主催)慈恵医師会
(共催)東京都医師会

◎お問合せ先:慈恵医師会◎
電話:03-3433-1111
(大代表)内線2636

JIKEI BULLETIN BOARD

大学公報のまとめ

行事

BULLETIN BOARD

- 第46回実験動物慰霊祭が平成20年6月14日(土)午後3時より、大学1号館講堂(3階)にて執り行われた。
- 平成20年度第2回学位記授与式が平成20年6月16日(月)午後2時30分より、学長応接室において挙行された。
授与された者 大学院修了者 1名
論文提出者 9名
計 10名
- 平成20年度第3回学位記授与式が平成20年9月16日(火)午後2時30分より、学長応接室において挙行された。
授与された者 大学院修了者 2名
論文提出者 5名
計 7名
- 平成21年度大学院入学試験が次の通り行われた。
平成20年10月4日(土) 第一次募集 合格者 11名
- 平成20年10月4日(土)第62回同窓会支部長会議が開催された。
- 平成20年10月9日(木)、10月10日(金)の両日、第125回成医会が開催された。
- 平成20年10月11日(土)学長をはじめ教授会代表、学生会代表により学祖 高木兼寛先生の墓参が行われた。
- 平成20年10月28日(火)午後1時より芝増上寺に於いて第104回解剖諸霊位供養法会が挙行された。
- 平成20年度第4回学位記授与式が平成20年11月17日(月)午後2時30分より、学長応接室において挙行された。
授与された者 大学院修了者 3名
論文提出者 2名
計 5名
- 平成21年、全機関合同開催(テレビ会議システム)による新年挨拶交歓会が、平成21年1月5日(月)午後4時より大学1号館3階講堂において開催された。
- 平成20年度第5回学位記授与式が平成21年1月19日(月)午後2時30分より、学長応接室において挙行された。
授与された者 大学院修了者 3名
論文提出者 4名
計 7名
- 平成21年度大学院入学試験が、次の通り行われた。
平成21年1月31日(土) 第二次募集 合格者 10名
- 平成21年度入学試験が、次の通り行われた。
医学科
平成21年2月4日(水) 第一次試験
平成21年2月15日(日)、2月16日(月)、2月17日(火) 第二次試験
合格者 150名
看護学科
平成21年2月10日(火) 第一次試験
平成21年2月13日(金) 第二次試験
合格者 66名
- 平成20年度 慈恵看護専門学校卒業式が、次の通り挙行された。
平成21年3月12日(木) 慈恵青戸看護専門学校 卒業生 33名
慈恵第三看護専門学校 卒業生 43名
慈恵柏看護専門学校 卒業生 57名
- 第84回医学科卒業式、第14回看護学科卒業式が次の通り挙行された。
平成21年3月13日(金) 医学科 卒業生 102名
看護学科 卒業生 37名
- 平成20年度第6回学位記授与式が平成21年3月16日(月)午後2時30分より、学長応接室において挙行された。
授与された者 大学院修了者 2名
論文提出者 2名
計 4名
- 平成21年度大学院医学研究科入学式が、次の通り挙行された。
平成21年4月1日(水) 入学者 21名
- 看護専門学校合同入学式が、次の通り挙行された。
平成21年4月4日(土) 慈恵青戸看護専門学校 入学者 101名
慈恵第三看護専門学校 入学者 51名
慈恵柏看護専門学校 入学者 81名
- 平成21年度入学式が、次の通り挙行された。
平成21年4月9日(水) 医学部医学科入学者 105名
医学部看護学科入学者 42名
- 平成21年度第1回学位記授与式が平成21年5月18日(月)午後4時より、学長応接室において挙行された。
授与された者 大学院修了者 8名
論文提出者 2名
計 10名
- 第47回実験動物慰霊祭が平成21年6月13日(土)午後3時より、大学1号館講堂(3階)にて執り行われた。
- 平成21年度第2回学位記授与式が平成21年7月21日(火)午後2時30分より、学長応接室において挙行された。
授与された者 論文提出者 2名
計 4名

補助金・助成金

BULLETIN BOARD

平成21年度 文部科学省科学研究費補助金申請状況一覧

種目	21年度		
	新規	継続	計
新学術領域研究	2	1	3
特定領域研究	3	3	6
特別推進研究	0	0	0
基盤研究(S)	0	0	0
基盤研究(A)	4	0	4
基盤研究(B)	20	3	23
基盤研究(C)	147	33	180
挑戦的萌芽研究	41	3	44
若手研究(S)	0	0	0
若手研究(A)	6	0	6
若手研究(B)	110	26	136
若手研究(スタートアップ)	0	3	3
特別研究員奨励費	0	1	1
研究成果公開促進費	0	0	0
合計	333	73	406

■平成20年度の決算について

1. はじめに

平成20年度は、医療収入が増加した一方で、固定費の減少が図れたため、帰属収支差額（収益）は予算を上回る結果となりました。

2. 消費収支計算書

収入の部では、医療収入が714億円で前年比19億円増加しました。

これは、手術件数が増加したことと、分院のDPCによる効果が大きかったことも一因です。これにより帰属収入の合計は816億円で、前年比12億円増加しました。

支出の部は、人件費が350億円で前年比-1億円でしたが、これは委託費化が進んだものです。医療経費が256億

円で前年比7億円増加しました。これにより消費支出の合計は789億円で、前年比10億円増加しました。

この結果、帰属収支差額（収益）は26億円となりました。

3. 資金収支計算書

資金収支計算書では、前年より繰り越した資金が334億円ありましたが、次年度への繰越金は338億円となり、繰越資金は4億円増加しました。

4. 貸借対照表

資産の部では、有形固定資産は減価償却が進み16億円減少しました。その他に有価証券10億円と青戸病院建築引当特定資産12億円を積上げました。流動資産は、現金預金が4億円、未収入金が4億円それぞれ増加しました。

負債の部では、固定負債は長期借入金を11億円返済しました。流動負債は施設拡充費の改定に伴う前受金の減少がありました。

基本金の部は、当年度基本金組入額が25億円で、基本金の部の合計額は1,005億円となりました。

5. 慈恵大学では、青戸病院に次ぐ将来構想に備えて内部留保に努めて参ります。

- (1) 西新橋地区整備事業のための内部留保(本院外来棟建設他)
- (2) コンプライアンスのための内部留保(ホルマリン対策等)
- (3) 安全な医療提供のための内部留保(医療機器の整備・配置)

- (4) 経済の低迷から、受診抑制による収益の減少に備える
- (5) 新型インフルエンザ等、患者受入れ体制の整備

世界的規模の経済の低迷期です。慈恵大学の持続的且つ安定的な経営を図っていくために、収益が確保でき余裕のあるときこそ内部留保に努め将来に備えて参ります。

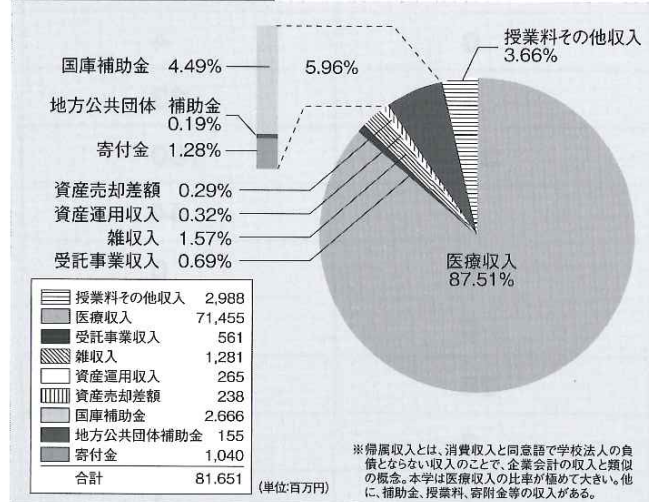
6. 決算書開示方法について

(1) 平成16年度の私立学校法の改正に伴い、本学の事業報告書、法人誌「The JIKEI」、インターネットのホームページでの決算報告は、文部科学省への届出フォームで表示しております。

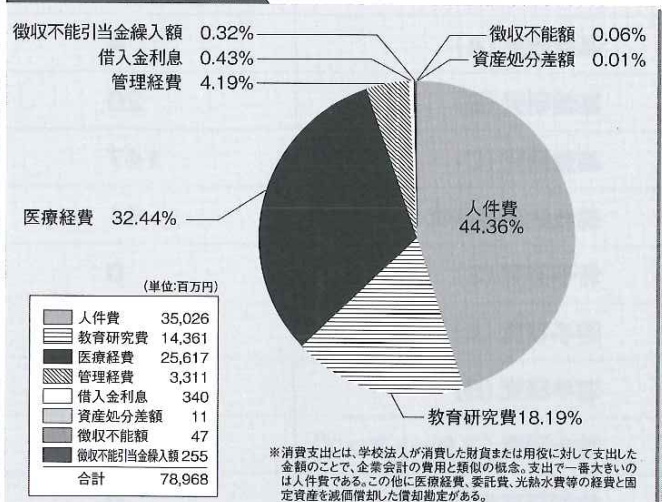
(2) 貸借対照表における未収入金は、徴収不能引当金255,002,271円を控除して表記しております。

以上

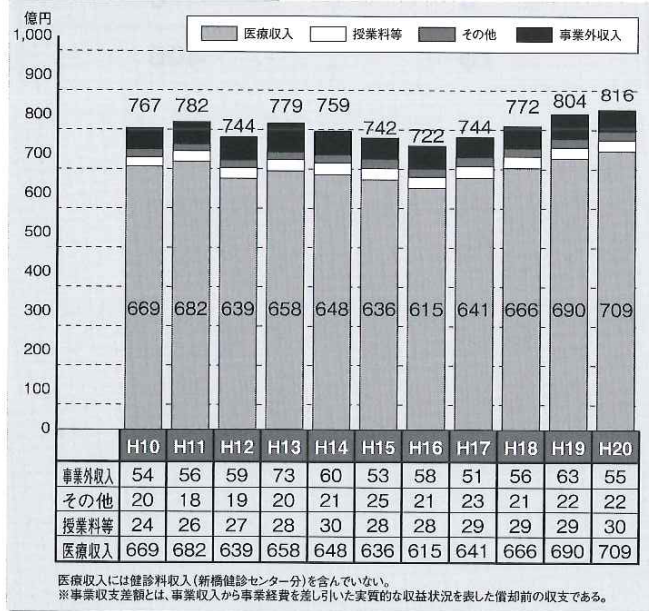
平成20年度 帰属収入の構成



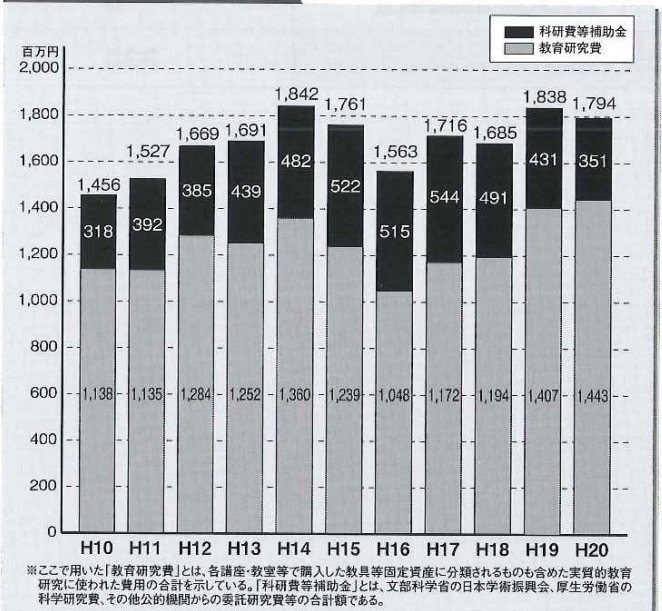
平成20年度 消費支出の構成



帰属収入の推移(H10~H20)



教育研究費の推移(H10~H20)



平成20年度消費収支計算書

消費支出の部		消費収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	35,025,941,891	学生生徒納付金	2,813,680,000
教育研究経費	39,978,508,638	手数料	174,266,300
教育研究経費	14,361,451,003	寄付金	1,040,016,971
医療経費	25,617,057,635	補助金	3,823,318,178
管理経費	3,311,577,899	国庫補助金	3,668,123,000
借入金利息	339,704,833	資産運用収入	265,006,744
資産処分差額	10,511,751	資産売却差額	238,394,504
徴収不能額	47,077,565	事業収入	72,016,333,587
徴収不能引当金繰入額	255,002,271	医療収入	71,455,365,702
合計	78,968,324,848	雑収入	1,280,692,431
		(うち徴収不能引当金繰入額)	(234,971,577)
消費支出の部合計	78,968,324,848	帰属収入の部合計	81,651,708,715
消費収入超過額	159,357,390	基本金組入額合計	-2,524,026,477
合計	79,127,682,238	合計	79,127,682,238

平成21年6月文部科学省へ提出

平成20年度資金収支計算書

自平成20年4月1日 至平成21年3月31日

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	34,952,592,859	学生生徒納付金収入	2,813,680,000
教育研究経費支出	35,677,625,653	手数料収入	174,266,300
教育研究経費支出	11,394,203,495	寄付金収入	1,006,856,546
医療経費支出	24,283,422,158	補助金収入	3,823,318,178
管理経費支出	2,912,602,600	資産運用収入	265,006,744
借入金支払利息支出	339,704,833	資産売却収入	238,484,600
借入金返済支出	3,049,600,000	事業収入	72,016,333,587
施設関係支出	1,573,379,474	医療収入	71,455,365,702
設備関係支出	1,446,103,297	雑収入	1,045,720,854
資産運用支出	4,228,000,000	借入金収入	1,900,000,000
その他支出	11,759,390,301	前受金収入	561,790,645
資金支出調整勘定	-11,287,675,256	その他の収入	14,639,684,032
期末未払金	-11,192,324,546	資金収入調整勘定	-13,395,888,915
長期未払金	-95,350,710	期末未収入金	-12,650,028,270
次年度繰越支払資金	33,875,696,813	前期末前受金	-745,860,645
支出の部合計	118,527,020,574	前年度繰越支払資金	33,437,768,003
		収入の部合計	118,527,020,574

平成21年6月文部科学省へ提出

平成20年度貸借対照表

平成21年3月31日現在

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	96,854,434,716	96,261,688,431	592,746,285
有形固定資産	87,715,467,896	89,373,284,831	-1,657,816,935
土地	6,331,139,571	6,331,229,667	-90,096
建物	66,972,456,181	68,065,167,199	-1,092,711,018
構築物	256,333,330	261,446,668	-5,113,338
教育研究用機器備品	8,162,335,304	8,674,886,871	-512,551,567
その他の機器備品	2,477,980,283	3,059,986,675	-582,006,392
図書	2,714,375,231	2,653,785,568	60,589,663
車両	1,852,901	472,150	1,380,751
建設仮勘定	775,833,187	303,148,125	472,685,062
放射性同位元素	23,161,908	23,161,908	0
その他の固定資産	9,138,966,820	6,888,403,600	2,250,563,220
差入保証金	358,403,600	358,403,600	0
有価証券	3,552,563,220	2,530,000,000	1,022,563,220
退職給付引当特定預金	1,600,000,000	1,600,000,000	0
青戸病院建築引当特定預金	3,628,000,000	2,400,000,000	1,228,000,000
流動資産	46,913,302,337	46,023,641,417	889,660,920
現金預金	33,875,696,813	33,437,768,003	437,928,810
未収入金	12,582,920,011	12,139,924,495	442,995,516
貯蔵品	74,933,795	67,929,669	7,004,126
短期貸付金	303,102,156	274,437,582	28,664,574
有価証券	0	22,563,220	-22,563,220
仮払金	76,649,562	81,018,448	-4,368,886
合計	143,767,737,053	142,285,329,848	1,482,407,205

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	30,034,257,260	31,157,366,158	-1,123,108,898
長期借入金	13,081,700,000	14,231,300,000	-1,149,600,000
退職給付引当金	16,712,176,962	16,638,827,930	73,349,032
長期未払金	95,350,710	142,208,640	-46,857,930
保証金	145,029,588	145,029,588	0
流動負債	13,209,036,936	13,286,904,700	-77,867,764
短期借入金	1,149,600,000	1,149,600,000	0
未払金	11,237,111,287	11,132,189,535	104,921,752
前受金	561,790,645	745,860,645	-184,070,000
預り金	258,895,004	257,654,520	1,240,484
保証金	1,640,000	1,600,000	40,000
基本金の部	100,524,442,857	97,841,058,990	2,683,383,867
基本金	142,228,308,311	139,704,281,834	2,524,026,477
第1号基本金	132,356,290,797	131,301,722,237	1,054,568,560
第2号基本金	3,628,000,000	2,400,000,000	1,228,000,000
第4号基本金	6,244,017,514	6,002,559,597	241,457,917
翌年度繰越消費支出超過額	-41,703,865,454	-41,863,222,844	159,357,390
平成20年度消費支出準備金	0	0	0
合計	143,767,737,053	142,285,329,848	1,482,407,205

平成21年6月文部科学省へ提出

*徴収不能引当金255,002,271円は未収入金から控除されています。

■平成21年度予算について

I. 基本方針

- (1) 青戸病院新築に向けての予算、且つ本院外来棟建設を目指し、収支のバランスと、内部留保の蓄積を図る予算計画とする。
- (2) 学内タスクフォースの経験を活かした、経費削減策を実践する。

II. 予算の考え方

1. 予算目標

平成21年度における「帰属収支差額」の目標値を最低12億円以上とする。

償却前利益の中から法定通りの減価償却を実施した上で、銀行借入の返済を手持資金を取り崩さずに運営し、青戸病院建築のための蓄積を図る目標値とした。

2. 予算配分のウエイト(財務の指針)

- ①安全な医療を提供するための予算
- ②コンプライアンスのための予算
- ③患者サービスと増収のための予算
- ④学術の振興・教育の充実のための予算

III. 平成21年度予算

- ①現在の経済情勢は、金融危機に端を発して景気が低迷している。

このような背景のなかでの平成21年度予算は、収益見込みが立ち難いため、収入は固めにし、支出は増加要因を見込んでの予算とした。

での予算とした。

- ②平成21年度は、青戸病院の建設着工に伴う予算を約33億円、第三病院の立体駐車場予算4億円を計上し、その他の大型設備投資を18億円に抑え、総額55億円の設備投資予算とした。

建築資金の調達手段としては、青戸病院建設のための特別会計資金30億円の取り崩しと、第三病院立体駐車場建設のための一般会計資金4億円の取り崩しを行うが、何れもそれぞれの計画のために資金を積上げてきたものであり計画通りである。

- ③収入のなかで一番大きなウエイトを占める医療収入は719億円で、20年度予算比+23億円の増加計画である。一方医療経費は238億円で、前年比+11億円の増加計画とした。病院部門での収益は70億円を見込んでいる。

- ④その結果、消費収支の「帰属収支差額」で13億円、資金収支の「次年度繰越金」で8億円を計上することになった。

IV. 平成21年度の予算に計上した主な工事は次の通りです。

- ・法人 システム関連工事
- ・西新橋 大学施設内ホルマリン対策工事
- ・本院 ICU増床に伴う改修工事
- ・青戸病院 新病院建築工事(H21年度分)
- ・第三病院 都道・市道拡幅工事に伴う立体駐車場設置工事
- ・柏病院 手術室・ICU・CCU拡張改修工事(第3期)

以上

平成21年度 一般会計予算(消費収支)

支 出					収 入				
科目	20年度予算	20年度実績見込額	21年度予算	対前年比較	科目	20年度予算	20年度実績見込額	21年度予算	対前年比較
事業経費					事業収入				
人件費	35,353,148	35,576,472	35,243,246	-109,902	授業料その他収入	2,857,205	2,990,343	2,774,965	-82,240
教育研究費	1,284,638	1,822,877	1,436,081	151,443	医療収入	69,625,770	70,494,205	71,943,674	2,317,904
奨学金	25,400	25,100	25,400	0	衛生管理収入	528,000	520,000	521,090	-6,910
医療経費	22,662,396	23,476,677	23,798,589	1,136,193	雑収入	1,431,913	1,695,182	1,415,489	-16,424
消耗品費	1,184,813	1,243,750	1,337,369	152,556	管理棟収入	127,000	128,031	127,768	768
委託費	5,825,403	5,634,155	5,762,124	-63,279					
光熱水費	1,886,362	2,023,960	1,971,434	85,072					
営繕費	819,483	830,456	837,773	18,290					
諸経費	3,757,770	3,556,070	3,865,747	107,977					
計	72,799,413	74,189,517	74,277,763	1,478,350	計	74,569,888	75,827,761	76,782,986	2,213,098
事業外経費					事業外収入				
支払利息	10,400	8,886	8,419	-1,981	受取利息	21,667	174,016	89,362	67,695
計	10,400	8,886	8,419	-1,981	補助金	3,692,351	3,694,938	3,304,370	-387,981
減価償却費					寄附金	594,000	865,201	600,000	6,000
建物	114,476	121,474	137,184	22,708	計	4,308,018	4,734,155	3,993,732	-314,286
設備	235,574	227,266	235,662	88					
教具	354,700	381,247	358,852	4,152					
医療器械	537,452	591,125	643,005	105,553					
一般備品	79,863	80,050	83,390	3,527					
車両	472	472	0	-472					
構築物	6,787	5,787	5,841	-946					
計	1,329,324	1,407,421	1,463,934	134,610					
徴収不能額	60,000	60,000	60,000	0	徴収不能引当金戻入額	200,000	200,000	200,000	0
徴収不能引当金繰入額	200,000	200,000	200,000	0					
一般会計収支差額	4,678,769	4,896,093	4,966,602	287,833					
合計	79,077,906	80,761,916	80,976,718	1,898,812	合計	79,077,906	80,761,916	80,976,718	1,898,812

一般会計+特別会計帰属収支差額 1,384,462

(単位:千円)

平成21年度 特別会計予算案(消費収支)

支 出					収 入				
科目	20年度予算	20年度実績見込額	21年度予算	対前年比較	科目	20年度予算	20年度実績見込額	21年度予算	対前年比較
事業経費					事業外収入				
雑費	117,000	47,364	231,975	114,975	受取利息	196,087	125,426	95,426	-100,661
運搬費	30,000	30,000	0	-30,000	補助金	0	0	0	0
医療経費	0	70,577	0	0					
一般備品費	0	0	10,000	10,000	記念事業寄附金	80,000	85,000	32,000	-48,000
事業外経費									
支払利息	344,167	336,045	289,312	-54,855					
減価償却費	3,396,684	3,291,250	3,178,279	-218,405					
建物	2,030,335	2,048,881	2,005,186	-25,149					
設備	460,579	357,603	278,949	-181,630					
教具	79,628	79,628	79,628	0					
医療器械	766,632	742,510	753,248	-13,384					
一般備品	37,133	40,251	38,891	1,758					
車両	0	0	0	0					
図書	0	0	0	0					
放射性同位元素	0	0	0	0					
構築物	22,377	22,377	22,377	0					
特別会計収支差額	-3,611,764	-3,564,810	-3,582,140	29,624					
合計	276,087	210,426	127,426	-148,661	合計	276,087	210,426	127,426	-148,661

(単位:千円)

平成21年度 一般会計予算(資金収支)

支 出					収 入				
科目	20年度予算	20年度実績見込額	21年度予算	対前年比較	科目	20年度予算	20年度実績見込額	21年度予算	対前年比較
事業経費					事業収入				
人件費	34,989,486	35,212,808	35,623,950	634,464	授業料その他収入	2,857,205	2,990,343	2,774,965	-82,240
教育研究費	1,284,638	1,822,877	1,436,081	151,443	医療収入	69,625,770	70,494,205	71,943,674	2,317,904
奨学金	25,400	25,100	25,400	0	衛生管理収入	528,000	520,000	521,090	-6,910
医療経費	22,662,396	23,476,677	23,798,589	1,136,193	雑収入	1,431,913	1,695,182	1,415,489	-16,424
消耗品費	1,184,813	1,243,750	1,337,369	152,556	管理棟収入	127,000	128,031	127,768	768
委託費	5,825,403	5,634,155	5,762,124	-63,279					
光熱水費	1,886,362	2,023,960	1,971,434	85,072					
営繕費	819,483	830,456	837,773	18,290					
諸経費	3,757,770	3,556,070	3,865,747	107,977					
計	72,435,751	73,825,853	74,658,467	2,222,716	計	74,569,888	75,827,761	76,782,986	2,213,098
事業外経費					事業外収入				
支払利息	10,400	8,886	8,419	-1,981	受取利息	21,667	174,016	89,362	67,695
計	10,400	8,886	8,419	-1,981	補助金	3,692,351	3,694,938	3,304,370	-387,981
					寄附金	594,000	865,201	600,000	6,000
固定資産					計	4,308,018	4,734,155	3,993,732	-314,286
建物	122,600	299,658	489,200	366,600					
設備	403,190	228,294	99,050	-304,140					
教具	16,659	10,414	6,600	-10,059					
医療器械	830,000	786,203	830,000	0					
一般備品	77,526	70,854	92,333	14,807					
車両	0	0	0	0					
図書	73,920	73,920	60,420	-13,500					
放射性同位元素	0	0	0	0					
構築物	15,000	541	23,500	8,500					
計	1,538,895	1,469,884	1,601,103	62,208					
借入金(返済)					借入金(新規)				
予備費	1,900,000	1,900,000	1,900,000	0	借入金(新規)	1,900,000	1,900,000	1,900,000	0
記念事業会計積立金	600,000	600,000	600,000	0	一般会計資金取崩	0	0	400,000	400,000
特別会計へ繰入金	300,000	300,000	300,000	0					
特別会計へ繰入金	3,992,860	4,357,293	4,008,729	15,869					
計	6,792,860	7,157,293	6,808,729	15,869					
合計	80,777,906	82,461,916	83,076,718	2,298,812	合計	80,777,906	82,461,916	83,076,718	2,298,812

(単位:千円)

平成21年度 特別会計予算(資金収支)

支 出					収 入				
科目	20年度予算	20年度実績見込額	21年度予算	対前年比較	科目	20年度予算	20年度実績見込額	21年度予算	対前年比較
事業経費					事業外収入				
雑費	117,000	47,364	231,975	114,975	受取利息	196,087	125,426	95,426	-100,661
運搬費	30,000	30,000	0	-30,000	補助金	0	0	0	0
医療経費	0	70,577	0	0					
一般備品費	0	0	10,000	10,000	記念事業寄附金	80,000	85,000	32,000	-48,000
事業外経費					借入金(新規)				
支払利息	344,167	336,045	289,312	-54,855	借入金(新規)	0	0	0	0
借入金(返済)					特別会計預金取崩				
借入金(返済)	1,149,600	1,149,600	1,149,600	0	特別会計預金取崩	0	0	3,000,000	3,000,000
固定資産					一般会計より繰入金				
設備	0	0	0	0	一般会計より繰入金	3,992,860	4,357,293	4,008,729	15,869
医療器械	638,995	568,418	314,000	-324,995	記念事業会計積立金	300,000	300,000	300,000	0
一般備品	5,206	5,206	0	-5,206					
教具	0	0	0	0					
建設仮勘定	1,528,750	1,528,750	4,621,063	3,092,313					
次年度繰越金									
次年度繰越金	755,229	1,131,759	820,205	64,976					
合計	4,568,947	4,867,719	7,436,155	2,867,208	合計	4,568,947	4,867,719	7,436,155	2,867,208

(単位:千円)

平成20年6月1日

1. 豊永 義清准教授に、客員教授を命ずる
1. 佐藤 譲二講師に、客員教授を命ずる
1. 谷 論准教授に、教授を命ずる
1. 橋本 尚詞准教授に、教授を命ずる(特任期間 平成20年6月1日～平成23年5月31日)
1. 朝倉 正講師に、准教授を命ずる
1. 持尾 聡一郎氏に、附属病院神経内科診療部長を命ずる
1. 岡 尚省氏に、附属第三病院神経内科診療部長を命ずる

平成20年6月11日

1. 故 水島 裕客員教授に次の叙位がありました。正五位

平成20年7月1日

1. 山田 尚教授に、教授を命ずる
1. 山田 哲久講師に、准教授を命ずる
1. 戸田 和重講師に、准教授を命ずる
1. 清田 浩氏に、附属青戸病院泌尿器科診療部長を命ずる
1. 飯野 孝氏に、附属柏病院耳鼻咽喉科診療部長代行を命ずる

平成20年8月1日

1. 内田 満教授に、形成外科学講座担当教授を命ずる
1. 柏木 秀幸准教授に、教授を命ずる
1. 内田 満氏に、附属4病院形成外科総括責任者を命ずる
1. 内田 満氏に、附属病院形成外科診療部長を命ずる
1. 三尾 寧氏に、附属柏病院麻酔部診療部長を命ずる
1. 野嶋 公博氏に、附属柏病院形成外科診療部長代行を命ずる

平成20年9月13日

1. 故 松本武四郎客員教授に次の叙位がありました。従五位

平成20年10月1日

1. 大草 敏史准教授に、教授を命ずる
1. 中山 勝敏講師に、准教授を命ずる
1. 古川 良幸講師に、准教授を命ずる
1. 松田 実講師に、准教授を命ずる
1. 蔵田 英明准教授に、附属青戸病院副院長を命ずる
1. 岸本 幸一准教授に、附属柏病院副院長を命ずる
1. 鈴木 正彦氏に、附属青戸病院神経内科診療部長を命ずる
1. 栗田 正氏に、附属柏病院神経内科診療部長を命ずる
1. 野嶋 公博氏に、附属柏病院形成外科診療部長を命ずる
1. 附属病院に臨床研修センターを設置する

平成20年11月1日

1. 衛藤 義勝客員教授に、教授を命ずる(特任期間 平成20年11月1日～平成22年3月31日)
1. 石渡 賢治講師に、准教授を命ずる

平成20年12月1日

1. 徳留 悟朗准教授に、客員教授を命ずる
1. 和田 高士准教授に、教授を命ずる
1. 武山 浩講師に、准教授を命ずる
1. 岡本 友好講師に、准教授を命ずる

平成20年12月18日

- 1.鈴木 暁之教授の最終講義を1月17日に執り行った

平成21年1月1日

- 1.川村 統勇講師に、客員教授を命ずる
1.杉崎 正志氏に、附属病院歯科診療部長を命ずる
1.武石 明精氏に、附属柏病院形成外科診療部長を命ずる

平成21年2月1日

- 1.大野 岩男准教授に、教授を命ずる
1.近江 禎子准教授に、教授を命ずる
1.三森 教雄講師に、准教授を命ずる
1.池内 聡講師に、准教授を命ずる
1.岡本 愛光講師に、准教授を命ずる
1.近藤 一郎講師に、准教授を命ずる
1.三尾 寧講師に、准教授を命ずる
1.五味 秀穂講師に、准教授を命ずる

平成21年3月1日

- 1.福永 眞治准教授に、教授を命ずる
1.東條 克能准教授に、教授を命ずる
1.宇都宮 一典准教授に、教授を命ずる
1.宇都宮 保典講師に、准教授を命ずる
1.福島 久喜講師に、准教授を命ずる
1.梅澤 祐二教授は、定年により職を解く
1.安田 允教授は、定年により職を解く
1.笠原 洋勇教授は、定年により職を解く
1.鈴木 暁之教授は、定年により職を解く
1.看護学修士課程設置準備室は組織を解消する

平成21年4月1日

- 1.真野 章氏に、顧問を委嘱する
1.笠原 洋勇氏に、客員教授を命ずる
1.安田 允氏に、客員教授を命ずる
1.立花 正一氏に、客員教授を命ずる
1.城 謙輔准教授に、客員教授を命ずる
1.田代 和也准教授に、客員教授を命ずる
1.島田 孝夫准教授に、客員教授を命ずる
1.関谷 透准教授に、教授を命ずる
1.横井 勝弥氏に、教授を命ずる
1.櫻井 尚子氏に、教授を命ずる
1.恩田 威一准教授に、教授を命ずる(特任期間 平成21年4月1日～平成24年3月31日)
1.白崎 嘉昭准教授に、教授を命ずる(特任期間 平成21年4月1日～平成24年3月31日)
1.柿川 房子氏に、教授を命ずる(特任期間 平成21年4月1日～平成23年3月31日)
1.菊地 登喜子氏に、教授を命ずる(特任期間 平成21年4月1日～平成23年3月31日)
1.小井戸 薫雄講師に、准教授を命ずる
1.北原 雅樹講師に、准教授を命ずる
1.木山 秀哉講師に、准教授を命ずる
1.寺尾 保信講師に、准教授を命ずる
1.横山 昌幸講師に、准教授を命ずる(特任期間 平成21年4月1日～平成24年3月31日)
1.高島 尚美氏に、看護学科教授を命ずる

- 1.嶋澤 順子氏に、看護学科准教授を命ずる
1.佐々木 敬教授に、慈恵柏看護専門学校長を命ずる
1.馬目 佳信教授に、共用研究施設長を命ずる
1.菊地 登喜子教授に、大学院医学研究科看護学専攻修士課程専攻長を命ずる
1.細谷 龍男教授に、内科学講座総括責任者を命ずる
1.細谷 龍男氏に、附属4病院内科総括責任者を命ずる
1.芝田 貴裕氏に、附属第三病院循環器内科診療部長を命ずる
1.貝瀬 満氏に、附属第三病院内視鏡部診療部長を命ずる
1.西脇 嘉一氏に、附属柏病院腫瘍・血液内科診療部長を命ずる
1.忽滑谷 和孝氏に、附属柏病院精神神経科診療部長を命ずる
1.加藤 智弘氏に、附属病院内視鏡部診療部長代行を命ずる
1.高木 正道氏に、附属柏病院呼吸器内科診療部長代行を命ずる
1.総合医科学研究センターを下記のとおり改編する
①DDS研究所を閉鎖する
②臨床研究開発室は組織を解消し、分子免疫学研究室および臨床疫学研究室を設置する
③総合医科学研究センター内研究支援部門に共用研究施設を新設する
1.基礎看護学1を基礎看護学に改称する
1.基礎看護学2を看護管理学に改称する

平成21年4月29日

- 1.米本 恭三名誉教授に次の叙勲がありました。 瑞宝中綬章

平成21年5月1日

- 1.古谷 伸之講師に、准教授を命ずる
1.上久保 毅氏に、附属青戸病院リハビリテーション科診療部長を命ずる
1.小林 重光氏に、附属第三病院産婦人科診療部長を命ずる
1.長谷川 譲氏に、附属柏病院脳神経外科診療部長を命ずる

平成21年6月1日

- 1.霜 礼次郎氏に、学校法人慈恵大学理事を命ずる(平成21年6月1日付)
1.高橋 紀久雄氏、香川 草平氏に、学校法人慈恵大学評議員を命ずる(平成21年6月1日付)
1.宮本 幸夫氏に、附属病院超音波診断センター長を命ずる

平成21年7月1日

- 1.今井 透氏に、附属柏病院耳鼻咽喉科診療部長を命ずる

平成21年8月1日

- 1.敷島 敬悟准教授に、教授を命ずる
1.三澤 健之講師に、准教授を命ずる
1.柳澤 暁講師に、准教授を命ずる(特任期間 平成21年8月1日～平成24年7月31日)
1.長谷川 譲講師に、准教授を命ずる(特任期間 平成21年8月1日～平成24年7月31日)

■大学院修了者

20.7.9 ハッサン・アリ・モハメド
20.10.8 仙石 鍊平 上田 裕之
20.10.22 神野 英生 平松 美也子
20.11.26 中井 望
20.12.24 中野 雅貴 寺尾 陽子
21.1.14 山田 律子
21.2.12 飯田 智憲
21.2.25 平井 利明
21.3.11 佐野 浩斎
21.3.25 嶋田 洋太
21.4.8 尾見 裕子 森本 彩
21.4.22 永妻 啓介 小山 達也
21.7.22 岩淵 馨
21.9.9 福井 亮

■学位論文通過者

20.7.9 大町 貴弘 荒井 隆雄 森 真理子
20.9.10 芦塚 修一 増田 洋一郎
20.9.24 木田 康太郎 延山 嘉真
20.10.8 吉村 剛
20.11.26 萬 直哉 石橋 敏寛
21.1.28 鹿瀬 陽一
21.2.12 各務 志野
21.3.11 三木 淳
21.4.22 二上 敏樹
21.5.13 原 弘道
21.5.27 荻 成行 加田 博秀 花井 信

訃報

- 1.松本 武四郎 客員教授(病理学)は、平成20年7月23日逝去されました。
- 1.寺島 芳輝 客員教授(産婦人科学講座)は、平成20年8月22日逝去されました。
- 1.同窓会評議員 鈴木 鐘美先生(昭25年卒)は、平成20年9月26日逝去されました。
- 1.北原 健二 名誉教授(眼科学講座)は、平成20年10月28日逝去されました。
- 1.松井 道彦 元専務理事は、平成21年3月23日逝去されました。
- 1.林 伸一 名誉教授(分子生物学講座)は、平成21年4月20日逝去されました。
- 1.高木 康 客員教授(麻醉科学講座)は、平成21年4月21日逝去されました。
- 1.吉村 不二夫 名誉教授(第2解剖学)は、平成21年5月3日逝去されました。
- 1.洲鎌 盛一 准教授(小児科学講座)は、平成21年5月25日逝去されました。
- 1.三橋 正樹 事務員(大学事務部学事課)は、平成21年6月1日逝去されました。
- 1.尾崎 雅宏 助教(脳神経外科学講座)は、平成21年8月22日逝去されました。
- 1.益子 健男 准教授(心臓外科学講座)は、平成21年9月27日逝去されました。

役員人事

平成20年11月30日 小林 建一 総合医学研究センター長 退任
平成20年12月1日 高木 敬三 総合医学研究センター長 就任
平成21年3月31日 小林 建一 監事 退任
平成21年4月1日 眞柄 直郎 監事 就任

行事

平成20年6月17日(火) 東京慈恵会理事会、評議員会、通常総会が開催された。
平成20年11月18日(火) 東京慈恵会理事会が開催された。
平成20年12月5日(金) 平成20年度慈恵看護専門学校戴帽式が挙行された。
1年生(第59期生他) 98名
平成21年3月12日(金) 慈恵看護専門学校卒業式が挙行された。
卒業生 93名
平成21年3月24日(火) 東京慈恵会理事会、評議員会、定期総会が開催された。
平成21年4月4日(土) 平成21年度慈恵看護専門学校入学式が挙行された。
入学生 101名
平成21年6月16日(火) 東京慈恵会理事会、評議員会、通常総会が開催された。

訃報

高木秀寛理事は、平成20年10月26日逝去されました。

創立百二十周年記念事業募金 のご報告

～青戸病院と本院外来棟の建築を目指して～

平成12年から皆様にご協力いただいて参りました創立百二十周年記念事業募金は、平成22年1月末日までに35億円のご応募をいただきました。心より厚く御礼申し上げます。

寄付金申込者区別累計

(平成22年1月31日現在)

総申込件数	4,092件	
総申込金額	3,669,017,929円	
区別別申込状況		
・卒業生 O・B	1,145件	912,022,194円
・父兄会関係	574件	764,173,160円
・教職員	1,909件	323,827,565円
・賛同企業	372件	1,557,900,000円
・一般団体&個人	92件	111,095,010円
(計)	4,092件	3,669,017,929円

募金目標額

総額	50億円
記念事業対象総予算額	920億円
・大学1号館(U1棟)建築資金 2002年3月竣工	100億円
・U2棟建築資金	100億円
・附属病院中央棟建築資金 1999年12月竣工	250億円
・附属病院H3棟(外来棟)建築資金	200億円
・附属青戸病院建築資金	150億円
・附属第三病院手術棟建築資金 2003年7月竣工	20億円
・看護学科と第三病院改修整備資金	50億円
・附属柏病院改修整備資金	50億円

寄付者名簿

同窓生

長尾 充
長尾 百合子
相澤 久美子
池田 和良
加藤 文明
池田 幸市
元山 幹雄
関沢 英一
川越 忠夫
廣津 伸夫
瀬川 豊
初木 和穂
樋口 善久
荒井 由和
上條 誠
廣津 卓夫
宮脇 公明
寺島 芳輝
堀 洋二
本間 光正
廣濱 浩司
大政 良二

同窓会支部

島根支部
南多摩支部

クラス会

慈恵桐蔭学園会
昭和62年卒クラス会
慈恵医大昭四三会
慈恵昭六三会
平成元年卒業生一同

教職員

吉田 博
西山 晃弘
堀 誠治
安田 允

父兄

岩瀬 和泉
蒔田 国伸
川崎 紀章
三宅 修司
高橋 豊明
角野 聖人
福島 邦男
鈴木 龍一
森 健三
小久保 邦雄
斉藤 博幸
深澤 泉
渡邊 忠治
柳垣 繁
関谷 洋
板倉 誠一
岡本 純一
築場 豊
高橋 民男
稲葉 博司
竹内 徹夫
黒澤 明充
石川 雅一
松下 好恵
仲 弥
梯 仁志
川端 政實
長沼 芳和
福島 亮治
古部 利夫
松川 中
湊 達郎
小林 幹雄
内田 賢
田中 研二
大野 芳路
井ノ上 博雄
池田 哲夫
雨宮 信一
石川 圭子
伊藤 昌毅

曾田 弘
黒柳 律雄
斉藤 麻美子
田原 卓浩
田村 浩
谷島 一嘉
松尾 安一
片倉 武郎
阿久津 晃一
長田 一夫
船木 直也
久津名 雅士
大沢 澄夫
北村 儀雄
今井 裕
田中 克明
立石 慎一郎
田村 元
白石 隆
池脇 克則
坊 昭範
中嶋 敬介
稲山 嘉明
中澤 憲一
高見澤 重教
蓮見 賢一郎
正古 信夫
長谷川 清一郎
小田 ゆかり
杉山 貴彦
田中 敏之
大澤 佳之
山内 敏夫
青木 朗雄
中野 茂
松浦 誠一

松浦 葉子
川口 英人
菅沼 重行
井上 徹
澤木 誠司
三浦 靖彦
喜古 克広
般若 辰郎

企業・一般団体

ボストンサイエンティ
フィックジャパン(株)
テルモ(株)東京統括支店
(株)ティーエイケイ
富士フィルムメディカル(株)
弥生不動産(株)
慈恵ファシリティサービス(株)
(株)メディカルユニティ
新日本管財(株)

個人

周 泰鳳
久保田 美代
前田 謙
浅利 玉子
上田 タツエ
三田 由佳里
造作 聡美
林 光子
桃川 敬司
中村 利男
服部 光志
高木 満里子
佐藤 庸彰

- 平成19年6月1日から平成22年1月31日までに寄付くださった方々の内容に基づき作成しました。
- 教職員で給与、賞与から天引きされている方々ならびに分割振込みされている方々のご芳名は省略しています。(初回掲載済)
- ご芳名は敬称を省略しました。
- 尚、この名簿には匿名希望の方の分は掲載しておりません。



The **JIKEI** 2010 Spring Vol.14

発行 学校法人 慈恵大学
発行人 理事長 栗原 敏
連絡先 〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8
学校法人 慈恵大学 広報課
電話 03-3433-1111
F A X 03-5400-1281
e-mail koho@jikei.ac.jp
号 数 第14号
発行日 2010年3月1日

<http://www.jikei.ac.jp/>

~~~~~ 編集後記 ~~~~~

本学は今年創立130周年を迎えます。創立以来、より良い医療の実現を目指し、数多くの試練を乗り越えながら、今日に至っています。より良い医療を実現する基礎は、良き医療人材の育成にあることは言うまでもありません。そのため常に真剣に議論を重ね、慈恵としてあるべき姿を追求してきました。本学の新臨床研修医制度への対応に注目した今回の特集を通して、その取り組み姿勢をご理解いただければ幸いです。より役に立つ法人誌にするためにも、是非、本誌をご覧いただき、ご意見やご感想をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

大学広報委員会委員長 阿部 俊昭